

# たかまつ男女共同参画プランの推進状況

(計画期間：平成14年度～18年度)

平成18年度

平成19年11月

高 松 市

# たかまつ男女共同参画プランの推進状況（総括）

## 1 概要

たかまつ男女共同参画プランに掲げる5つの基本目標について、その推進状況を図るために、平成18年度末の努力目標数値を設定した項目、67項目のうち、単年度で目標数値が把握できる評価指標44項目と目標値を設定していない23項目の中で、推進状況傾向が把握できた評価指標20項目の平成18年度末における達成状況を取りまとめた。

また、目標値を設定していない項目等で、単年度で目標数値の把握（調査）が難しいもの3項目は、対象から除外している。

項 目	推 進 状 況							計
	A	B	C	↗	→	↘		
【基本目標】 ジェンダー・フリーの意識づくり	1	3	2	2			1	9
【基本目標】 あらゆる分野への男女共同参画の促進	1	3	1	5	2		1	13
【基本目標】 男女がともにいきいきと働き続ける環境づくり	1	2	4	3				22
【基本目標】 男女がともに自立し、豊かで安心できる生活づくり	3	3		2	1		1	10
【基本目標】 男女の人権が尊重される社会づくり	3	1	4	4	1			13
合 計（67項目）	20	14	10	16	4		3	67

## 2 評価基準

- 香川県の「かがわ男女共同参画プラン」の推進状況の評価基準に準じて、推進状況进行评估している。
- 平成18年度が5年間の事業計画の5年目であるので、目標の5分の5である達成率100%を基準として、評価している。

- 「A」達成率100%以上のもの - 概ね順調に推移しているもの
- 「B」達成率100%未満で、0%を超えるもの - Aの状態にはないが、計画策定時より進展しているもの
- 「C」達成率0%以下のもの - 計画策定時から進展していないもの
- 「 」 「 」 「 」 - 目標数値を設定していなく、増加・横ばい・減少の傾向を表したもの
- 「 - 」 - 単年度ごとに目標数値の把握（調査）が難しいもの

$$* \text{達成率} = (\text{直近値} - \text{現状}) / (\text{目標値} - \text{現状}) \times 100$$

## 3 推進状況

単年度で目標数値が把握できる評価指標44項目（A・B・C）のうち、Aの達成率100%以上のものは20項目（45%）、また、目標値を設定していない20項目（ ）のうち、「 」の16項目を加えると、18年度では概ね56%のプランの推進状況となっている。

## たかまつ男女共同参画プランの評価指標および目標（進行管理）

現状は13年度を原則とするが、それ以外の年度については付書きのとおりとする。

基本目標	評価指標	計画期間中の目標（ ） は現状・年度	平成18年度	評価
ジェンダー・フリーの意識づくり	「男は仕事，女は家庭」という考え方に同感しない市民意識の割合	10%増（36.8%）	（33.2%）	C
	「ジェンダー」について知らない市民の割合	10%減（58.1%）	（53.6%）	B
	女性センター“サンフリー高松”の利用者	10%増 （年間50,034人） 12年度	（年間 51,119人）	B
	女性センター“サンフリー高松”のホームページへのアクセス	1.5倍 （年間22,138件） 12年度	（年間30,855件） 17年度 <small>（18年度は組織機構見直しによる カウント方式変更のため，データ 取得不可）</small>	B
	小・中学校のジェンダー意識の割合	調査し，計画期間中に減少		
	「女の子はやさしい子，男の子はたくましい子」に育てる方がよいと思う市民意識の割合	50%未満（65.2%）	（67.5%）	C
	ジェンダー・フリーに関する講座・セミナーの内容	メニューの多様化《参加者数が少なくとも必要な講座等は実施する》	多様化傾向	↗
	ジェンダー・フリーに関する講座・セミナーの参加者	1.2倍 （年間 約950人）	（年間 2,072人）	A
	ジェンダー・フリーに関する講座・セミナーの男性参加者	増加傾向	増加傾向	↗
あらゆる分野への男女共同参画の促進	女性委員のいない審議会等の割合	0% （26.0%）12年度	（17.9%）	B
	審議会等における女性委員の割合	35%以上 *将来的には，各審議会等の委員構成が両性ともに40%を下回らないことを目標 （23.1%）12年度	（28.6%）	B
	審議会等における女性の委員長（座長）就任者	増加（3人）	増加（6人）	↗
	市職員の女性管理職の割合	15%以上 （9.1%）12年度	（8.9%）	C
	女性教職員の管理職の割合	増加 （26.8%）12年度	増加（32.9%）	↗
	女性人材データ	データを作成し，計画期間中に増加	増加傾向	↗

	「地域社会では男性優位になっている」と思う市民意識の割合	50%未満(66.2%)	(59.8%)	B
	「家庭生活や地域活動より仕事を優先させる」と考える市民意識の割合	10%減(41.1%)		
	夜間、土曜・日曜日の公民館の利用回数	増加傾向	横ばい傾向	→
	地域諸団体における女性の会長就任者	増加傾向	横ばい傾向	→
	託児ボランティア	2倍(23人)	(60人)	A
	国際理解・交流に関する講座等の参加者	増加傾向	増加傾向	↗
	海外派遣研修・交流の参加者	増加傾向	増加傾向	↗
男女が ともに いきいきと働 き続ける環 境づくり	働き続けたいと希望する女性が仕事を継続できている割合	調査し、計画期間中に増加傾向	増加傾向	↗
	乳児保育	49か所(41か所)	(47か所)	B
	延長保育	38か所(28か所)	(39か所)	A
	障害児保育	39か所(36か所)	(39か所)	A
	休日保育	2か所(2か所)	(4か所)	A
	夜間保育	1か所(1か所)	(1か所)	A
	一時保育	23か所(20か所)	(23か所)	A
	病後児保育	3か所(2か所)	(3か所)	A
	留守家庭児童会	30か所(26か所)	(34か所)	A
	学童保育	10か所(7か所)	(7か所)	B
	民間児童館	4か所(0か所)	(1か所)	B
	育児・介護休業制度の規定がある事業所の割合	各10%増 (育児休業70.9%、 介護休業55.1%)	(育児休業78.0%、 介護休業67.5%)	A
	育児休業制度を利用した人がいない事業所の割合	10%減(42.0%)	(女性12.0%、 男性17.5%) 過去2年間に子どもが生まれた人で男女別に調査	A
	介護休業制度を利用した人がいる事業所の割合	増加(2.7%)	減少(2.4%)	C
	育児休業制度を利用した男性のいる事業所の割合	増加(0.8%)	増加(1.0%)	A
	「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない市民意識の割合	10%増(36.8%)	(33.2%)	C
関係機関における就労・再就職のための講座・セミナー	増加傾向	増加傾向	↗	
中途採用・再雇用等を取り入れている事業所の割合	増加 (中途採用39.9%、 出産・介護等による退職者の再雇用12.2%など)	増加 (中途採用56.8%、 出産・介護等による退職者の再雇用15.9%など)	A	

	パートタイム労働などの働く人のための相談件数	3倍 (年間7件:13年1月開始のため、13年1~12月の件数)	(年間11件)	B
	「職場では男性優位になっている」と思う市民意識の割合	50%未満(61.7%)	(70.1%)	C
	雇用に関する条件等について女性が不当に扱われていると思う市民意識の割合	減少 (賃金差 66.5%, 昇給・昇格差 61.1%, 能力正当評価 44.7% など)	減少 (賃金差 46.3%, 昇給・昇格差 49.3%, 能力正当評価 41.1% など)	A
	市職員の男女の職域	拡大傾向	拡大傾向	↗
男女がともに自立し、豊かで安心して生活づくり	保育体験事業	15か所(11か所)	(17か所)	A
	地域子育て推進事業(育児相談,子育ての情報提供,子育てサークル等の支援)	42か所(22か所)	(40か所)	B
	育児セミナー等の男性参加者	増加傾向	増加傾向	↗
	家事をしない(ほとんどしない,まったくしない)男性の割合	掃除,洗濯,買物,食事の支援,食事の片付けの各々で減少傾向	減少傾向	↘ (減少傾向が+評価)
	要介護高齢者の介護者の男性の割合	増加傾向		
	託児室等を備えた市施設	3か所(1か所)	(3か所)	A
	託児室等利用者	2倍以上(年間652人) 12年度	(年間1,106人)	B
	介護教室等の男性参加者	増加傾向	横ばい傾向	→
	老人介護支援センター	各中学校区に1か所, 基幹型1か所 計19か所(16か所)	地域型22か所 基幹型1か所 (23か所)	A
	訪問介護	2倍以上 (年間延べ367,664回)	(年間延べ597,022回)	B
男女の人権が尊重される社会づくり	メディア等における女性の人権が侵害されている表現	実態把握し,計画期間中に点検・改善傾向	改善傾向	↗
	市の刊行物等における女性の人権尊重の視点に立った表現	改善傾向	改善傾向	↗
	暴力被害について公的機関等に連絡・相談した人の割合	調査し,計画期間中に増加傾向	増加傾向	↗
	ドメスティック・バイオレンスに関する相談件数	増加(49件)	増加(277件)	↗
	民間シェルター	1か所(0か所)	(0か所)	C
	セクシュアル・ハラスメント防止の取組を行う事業所	増加 (相談窓口設置15.9% 防止指針策定12.7%, 研修等実施8.3%など)	増加 (相談窓口設置27.3% 防止指針策定21.7%, 研修等実施9.4%など)	A
	基本健康診査の受診率	50% (年間44.1%)12年度	(年間42.3%)	C

母子の健康診査の受診率 妊婦歯科健康診査	35% (年間31.2%) 12年度	(年間32.6%)	B
1歳6か月児健康診査	90% (年間88.0%) 12年度	(年間90.4%)	A
3歳児健康診査	80% (年間77.9%) 12年度	(年間84.1%)	A
「子どもを産むか産まないかは女性自身の考えや判断を優先すべきである」という考えに同感する市民意識の割合	10%増(54.5%)	(46.2%)	C
妊娠や出産についての知識習得，体験の場への男性参加者	増加傾向	横ばい傾向	→
働く女性の妊娠・出産等の健康管理に関する援助措置の取組みを行う事業所	増加 (生理休暇 33.1%， 妊娠中の通院休暇 16.7%， 通勤緩和措置 9.0% など)	減少 (生理休暇 32.1%， 妊娠中の通院休暇16.2%， 通勤緩和措置 5.6% など)	C

(注) 印の付いている開設箇所数は，旧高松市内の目標数値の達成率を算出し評価している。

たかまつ男女共同参画プランの計画体系および施策・事業の実施状況（総括）

実施状況 平成18年度では、施策・事業数352事業のうち、達成度評価「5」と「4」の評価を併せると84%以上の施策・事業が計画どおり実施されている。

注)達成度評価 「5」 現状で十分である。「4」 現状でほぼ十分である。「3」 現状では不十分である。「2」 現状ではかなり不十分である。「1」 現状ではまったく不十分である。

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	事業費（千円）（ただし、再掲となっている事業は、決算額・予算額から除いている。）					18年度予算額 （施策・事業数）	
			18年度決算額 （施策・事業数）	達成度評価					
				5	4	3	2		1
ジェンダー・フリーの意識づくり	1 男女共同参画に向けた意識改革	1 男女平等意識の啓発活動の推進 2 男女共同参画推進の社会的気運の醸成 3 男女共同参画に関する情報の収集・提供機能の充実 4 性別による固定的な役割分担や社会慣行の改善 5 女性センター“サンフリー高松”の機能の充実 6 地方公共団体としての取組み	444,718 (31)	11	18	2	0	0	463,094 (31)
	2 男女平等をめざす教育・学習の充実	1 学校等における男女平等教育の推進 2 ジェンダー・フリーの家庭環境づくり 3 男女平等意識を形成する生涯学習の推進	82,428 (25)	7	18	0	0	0	89,604 (25)
あらゆる分野への男女共同参画の促進	3 政策・方針決定への女性の参画拡大	1 審議会等への女性の参画拡大の推進 2 女性の管理職への登用の推進 3 女性の人材育成と活用	214 (19)	5	5	9	0	0	592 (19)
	4 地域社会における男女共同参画の促進	1 地域活動への参画拡大の促進 2 地域活動において女性が正当に評価される風土づくり 3 ボランティア活動等市民活動の促進	30,467 (21)	3	10	8	0	0	36,654 (21)
	5 国際交流の場への参画の促進	1 異文化を理解するための機会や情報の提供 2 交流活動と平和の推進	11,842 (13)	2	11	0	0	0	12,045 (13)
男女がともにいきいきと働き続ける環境づくり	6 仕事と家庭等の両立ライフの支援	1 仕事と家庭生活・地域活動の両立ライフについての意識啓発 2 多様なニーズに対応した保育サービスの充実 3 児童の放課後対策の充実 4 子育て環境の整備促進 5 ひとり親家庭等に対する生活の安定と自立への支援 6 介護サービスの充実 7 育児・介護休業制度の普及啓発 8 労働時間短縮に向けた普及啓発	26,930,838 (60)	7	37	14	0	2	27,010,321 (60)
	7 多様な働き方を可能にする就業環境づくり	1 学校教育における職業意識の形成 2 家庭・社会における職業意識の形成 3 職業能力の開発促進 4 女性の起業やパートタイム労働など多様な働き方への支援 5 女性の就業に関する相談や情報提供	2,766 (29)	2	21	6	0	0	3,171 (29)
	8 男女が対等なパートナーとして働く職場づくり	1 男女の雇用機会均等についての啓発 2 職場における男女平等の促進 3 セクシュアル・ハラスメント防止の啓発 4 働く女性の健康管理についての啓発 5 地方公共団体としての取組み	169 (25)	1	18	5	0	1	176 (25)
男女がともに自立し、豊かで安心できる生活づくり	9 男女がともに子育て、介護を担う家庭づくり	1 家庭生活への男女共同参画の啓発 2 子育てに関する相談、学習機会等の充実 3 子育てをしている人の活動しやすい環境の整備 4 高齢者の介護に関する相談、学習機会の充実	91,693 (31)	9	17	4	0	1	102,151 (31)
	10 高齢者等の生活の安定と自立の支援	1 高齢者の就業・学習機会の充実 2 高齢者の在宅生活の支援 3 高齢者等に対する相談・情報提供の充実 4 とともに生きるまちづくりの推進	266,292 (17)	9	8	0	0	0	301,061 (17)
男女の人権が尊重される社会づくり	11 人権尊重の意識づくり	1 男女の人権尊重の意識啓発 2 メディアにおける人権を尊重した表現の促進 3 健全な環境の整備	1,919 (23)	1	20	1	0	1	1,441 (23)
	12 女性に対するあらゆる暴力の根絶	1 女性に対する暴力をなくすための環境づくり 2 ドメスティック・バイオレンス等の対策の推進 3 セクシュアル・ハラスメントの防止対策の推進	6,301 (29)	1	25	2	1	0	6,344 (29)
	13 生涯にわたる健康づくりの推進	1 健康づくりの気運を高める啓発 2 リプロダクティブ・ヘルス/ライツの考え方の普及 3 女性の健康管理への支援 4 女性の健康をおびやかす問題についての対策の推進	1,752,927 (28)	13	14	1	0	0	1,751,812 (28)
合 計			29,622,574 (351)	71	222	52	1	5	29,778,466 (351)

たかまつ男女共同参画プラン進行管理票(平成18年度)

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課		
						再掲	予算額	決算額				
ジェンダー・フリーの意識づくり	1男女共同参画に向けた意識改革	1男女平等意識の啓発活動の推進	広報紙などの広報媒体によるジェンダーにとらわれない意識の定着に向けた広報・啓発の充実		広報紙においてはジェンダー・フリーに関する特集記事を年2回(6月,11月)掲載したほか,それに関するセミナーや講座などのお知らせは随時掲載した。テレビ・ラジオなどではジェンダー・フリーの啓発を図る番組を制作し,放送した。		214,309	208,941	4	広聴広報課		
			事業所・市民団体での研修の実施促進や高齢者等に対する啓発		老人クラブ連合会の指導者研修会において,男女平等意識についての啓発を行い,これら指導者を通じて各地区の高齢者に意識の浸透を図った。 研修会 - 6月22日~6月30日の7日間,市内7ヵ所で開催 延べ参加者 716人		36,106	35,491	4	長寿社会対策課		
					国,県等の関係機関から提供された関係情報をカウンターに設置し,希望者に配布した。平成18年9月から,関係情報を一般市民向けに広く広報するため,ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し,関係情報の提供を行った。					3	商工労政課	
			男女共同参画週間に呼応した啓発行事の実施		男女共同参画啓発事業 6/1の「人権擁護委員の日」および6/23から6/29までの「男女共同参画週間」に併せた啓発事業を実施した。 実施期間 6/23~6/30 参加人数 2,468人 ・女性弁護士の啓発講座,相談6/29 ・子どもへの暴力防止活動に取り組む団体のワークショップ 6/25 ・弁護士を囲む座談会 6/26 ・女性のための1日電話相談 6/23 ・パネル展示 6/23~30 市役所1階市民ホール ・啓発リーフレット,啓発グッズ配布,ビデオ上映		550	424	5	男女共同・市民参画室		
			男女共同参画資料の作成・配布		・相談用リーフレット 1,500枚 ・DV折りたたみリーフレット 1,000枚 ・女性相談カード 6,000枚 ・デートDVリーフレット 3,000枚 ・たかまつ男女共同参画プラン(改訂版)発行(プラン冊子400部,ダイジェスト版2,500部)		350	283	5	男女共同・市民参画室		
			2男女共同参画推進の社会的気運の醸成	男女共同参画都市宣言の啓発		・男女共同参画啓発事業 6/1の「人権擁護委員の日」および6/23から6/29までの「男女共同参画週間」に併せた啓発事業を実施した。 ・男女共同参画市民フェスティバルの実施 男女平等意識を育むよう,男女共同参画都市宣言推進事業として,市民団体と協働し,11/20から11/26まで2006年合併記念高松市男女共同参画市民フェスティバルを開催した。					4	男女共同・市民参画室
				ジェンダー・フリーたかまつ市民会議(仮称)の設置		(所期の目的を達成したことから,)18年度は設置しない。					-	男女共同・市民参画室

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
			市民意識調査の実施		たかまつ男女共同参画プラン(改訂版)策定事業に伴い、市民意識調査等を実施し、プランを策定した。 回答数 市民 1,285人 事業所 736事業所 市民団体 104団体		745	736	5	男女共同・市民参画室
			ホームページでの意見欄の設置		男女共同参画社会づくりの気運を高めるため、ホームページを拡充・充実させるとともに、ホームページでの意見欄は引き続き設置した。				4	男女共同・市民参画室
	3男女共同参画に関する情報の収集・提供機能の充実		男女共同参画に関する情報誌の発行		男女共同参画センター登録団体ネットワーク発行の「びびふあい」(年2回)や「参画センターだより」(毎月)の発行 ・「びびふあい」 18年9月 4,000部 19年3月4,000部 ・「参画センターだより」毎月500~700部				5	男女共同・市民参画室
			インターネットを活用した情報提供		男女共同参画センター内の情報・交流室でインターネットの体験や女性関係のホームページの検索・閲覧を行った。また、市のホームページやメールマガジンにイベント・講座等の開催、男女参画行政施策などの情報を提供した。				5	男女共同・市民参画室
			図書・ビデオの収集、貸出し		女性問題や男女共同参画に関する図書やビデオ、また、全国の男女共同参画センター・団体の発行する情報誌を収集し、男女共同参画センターの情報・交流室において広く市民に閲覧・貸出しを行った。 平成19年3月末現在 収集数 図書 2,185冊、ビデオ 103本、雑誌 7種 貸出数 図書 239冊、ビデオ 21本				4	男女共同・市民参画室
					幅広く収集に努め、新刊図書コーナーの一角に設けてある男女共同参画コーナーへの配架などにより、館内閲覧・館外貸出により情報の提供を行った。 資料収集費 80,322千円 貸出し 2,519,865冊		79,151	80,322	5	中央図書館
			男女共同参画に関する統計データの集約		男女共同参画に関連する統計・データを収集し、男女共同参画センターの情報・交流室で、閲覧・貸出しを行った。				4	男女共同・市民参画室
			ジェンダー・フリーたかまつ白書(データ・事例集)の発行と教材・資料としての活用		平成17年3月作成の「たかまつ男女共同参画白書」を活用し、啓発を行った。				4	男女共同・市民参画室

基本 目標	主 要 プラン	施策の基 本的方向	具体的施策・ 事業	重 点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度 評価	推進担当課	
						再 掲	予算額	決算額			
		4性別による固定 的な役割分担意 識改善のための 学習機会の提供 の改善	性別による固定 的な役割分担意 識改善のための 学習機会の提供		男女平等意識を育むことができるよう、男女 共同参画に敏感な視点を取り入れた講座・研 修を行った。 自分力アップ・参画セミナー等各種講座 男女共同参画啓発事業関係 ・女性弁護士の啓発講座、相談6/29 ・子どもへの暴力防止活動に取り組む団体の ワークショップ 6/25 ・弁護士を囲む座談会 6/26 ・パネル展示 6/23～30 市役所1階市民 ホール ・啓発リーフレット、啓発グッズ配布、ビデオ上 映 2006年合併記念男女共同参画市民フェス ティバル開催 11/20～11/26					男女共同・ 5 市民参画室	
					1 保育所における育児講座、育児相談を通 して、育児は男女が協力して行うという認識を 啓発した。 (1)地域子育て支援センター事業 ・私立保育所 10か所(うち、合併町5か所) ・その他 2か所(うち、合併町1か所) (2)地域子育て推進事業 ・公立保育所 23か所(うち、合併町2か所) ・私立保育所 19か所 2 次代の高松を担う子どもが健やかに生ま れ育つ環境づくりを進めるため総合的・体系 的に取り組む指針として策定した「高松市こ ども未来計画」の趣旨を広く市民に啓発するた め、各種の機会を捕らえ、家事・育児等は男 女が協力して行うという認識の啓発に努め た。また、育児相談の中で、育児等について 男性の参加について啓発した。 3 子育てハンドブックの配布および改訂版の 内容検討を行った。			100,902	87,883		子ども未来課・ 4 保育課
					ITフォローアップ講座については、国の緊急 雇用創出基金事業を活用して実施していた が、同基金事業が終了したため、地区公民館 等講座のひとつとして開催した。 1 実施期間 平成18年5月～平成19年3月 2 実施場所 二番丁公民館ほか43館! 3 延受講者数 4,292人						5 生涯学習センター
			ジェンダーの問 題に関する調 査・研究の実施		たかまつ男女共同参画プラン(改訂版)策定事 業に伴い、市民意識調査等を実施し、プラン を策定した。 回答数 市民 1,285人 事業所 736事業所 市民団体 104団体					男女共同・ 4 市民参画室	
			施策・制度等の ジェンダー解消 からの視点の点 検		「たかまつ男女共同参画プラン」の進捗状況 の点検、また、たかまつ男女共同参画プラン (改訂版)策定事業に伴う市民意識調査等を実 施するとともに、市民の自主的な取組活動を 推進するため、活動支援を行った。 市民意識調査等 回答数 市民 1,285人 事業所 736事業所 市民団体 104団体 活動支援 2006年合併記念高松市男女共同参画市 民フェスティバルの実施					男女共同・ 4 市民参画室	

基本 目標	主 要 プラン	施策の基 本的方向	具体的施策・ 事業	重 点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度 評価	推進担当課	
						再 掲	予算額	決算額			
			メディア・リテラシーに関するセミナーの開催		各種講座等を通して、女性や子どもたちを取り巻くメディア環境について取り上げ、メディア・リテラシーの必要性の理解を深めた。					男女共同・ 3 市民参画室	
			メディア等における性差別、性の商品化や暴力表現等の是正に向けた自主的な取り組みの要請と啓発		市内の事業所の人事・研修担当者を対象に人権問題指導者研修講座を、10月20日、31日、11月8日の3回開催し、延べ377人の参加を得た。 特に、第3回パネルディスカッション「人にやさしい企業づくり」において、企業活動(広報等)の中での、女性をはじめとした人権の尊重に配慮した取り組みについて要請と啓発を行った。		420	110		人権啓発課・ 4 商工労政課	
		5女性センター“サンフリー高松”の機能の充実	学習研修、相談、情報収集提供、活動交流事業の提供		男女共同参画センター事業(施設管理を含む。)については、高松市男女共同参画センター登録団体ネットワークを指定管理者として委託するとともに、相談事業では関係機関と連携を図った事業の実施に取り組んだ。 ・学習研修事業(自分力アップ・参画セミナー、男女共同参画講師チャレンジ講座、コミュニケーション講座、再就職チャレンジセミナー、市民企画講座、出前セミナー、託児サポーター養成講座、男女共同参画学習、DV研修、Re・Beワークセミナー、パートタイム労働ガイド等) ・相談事業(女性こころの相談、女性からだの相談、サポートグループ支援等) ・情報収集・提供事業(図書・ビデオ等の収集・貸出し、情報誌発行等) ・活動交流支援事業(登録団体交流会、参画センターはじめまして講座、参画センター初めてのこゝろ始めてみま週間、参画センターにここにおしゃべり会、託児事業等)						男女共同・ 4 市民参画室
			市民団体への事業委託		男女共同参画センターの管理運営事業については、市民団体である高松市男女共同参画センター登録団体ネットワークを指定管理者とし、委託するとともに、市民団体の意見が事業に反映できる組織づくりを行った。 ・登録団体数 143団体(19年3月末現在)		29,322	29,298		男女共同・ 5 市民参画室	
			各種講座、ジェンダー学習、出前セミナー、インターンシップ受入れなど、ジェンダー・フリーの研修の場としての機能の充実		男女平等意識を育むことができるよう、ジェンダーに敏感な視点を取り入れた講座・研修を行うとともに、インターンシップを受け入れた。 各種講座、セミナー 男女共同参画啓発事業関係講座 ・女性弁護士の啓発講座・相談(第1部「女性への暴力～DVとそれが子どもに与える影響～」、第2部「相談～具体的事例を受けて～」) ・子どもへの暴力防止活動に取り組む団体のワークショップ インターンシップの受入れ(香川大学学生)等					男女共同・ 5 市民参画室	

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課	
						再掲	予算額	決算額			
			地域と連携した女性センター事業の実施		男女共同参画センターで学んだ人たちが地域において、男女共同参画を広めることができるような学習・研修を行った。 また、男女共同参画について、地域での出前セミナーを実施した。 ・2006年合併記念男女共同参画市民フェスティバルの開催 11/20～11/26 参加者数3,850人 ・出前セミナー 8回 参加者数 312人		1,000	1,000	5	男女共同・市民参画室	
			情報提供や交流しやすい環境づくりなどによる自主的活動の支援		男女共同参画センターの会議室使用料免除(4回/月)、ロッカーの使用など、小規模団体にも活動しやすい環境づくりを行った。また、センター内情報・交流室での図書・ビデオの貸出し等を行った。 平成19年3月末現在 収集数 図書 2,185冊、ビデオ 103本、雑誌 7種 貸出数 図書 239冊、ビデオ 21本					4	男女共同・市民参画室
	6地方公共団体としての取り組み	ジェンダーに敏感な市職員を育てる研修等の実施	ジェンダーに敏感な市職員を育てる研修等の実施		セクシュアル・ハラスメント防止に関する職員研修の実施 ・H18年度新規採用職員第 部研修の中で実施...4/11 5人 ・H18年度係長級職員研修の中で実施...6/30 43人 H18年度新規採用職員実務研修の実施 ・給食調理・清掃作業作業実務体験...5/11・12,5/18・19 5人 市町村アカデミーへの派遣研修の実施		239	230	4	人事課	
			市の刊行物におけるジェンダー・フリーの視点に立った表現についてのマニュアル作成		地方公共団体として、男女共同参画に敏感な市職員を育成するとともに、男女共同参画の視点に立った取組みを推進するため、表現マニュアルを活用し、人権を尊重した表現を促進した。					4	男女共同・市民参画室
			ジェンダー・フリーの視点に立った広報の推進		広報紙等でジェンダー・フリーの視点に立った広報を心がけた。 ( -1-1再掲)	再	214,309	208,941	4	広聴広報課	
			市役所の職場における男女の固定的役割分担の点検・見直し		人事異動において、男女の固定的な役割にとらわれることなく、女性職員を配置した。					4	人事課
			市職員の旧姓使用の検討		高松市職員旧姓使用取扱要綱に基づき、結婚等による改姓後も、職員が申請すれば改姓前の姓(旧姓)を使用することができる旧姓使用制度を引き続き実施。 平成18年度の旧姓使用申請者数は4人。					4	人事課

基本 目標	主 要 プラン	施策の基 本的方向	具体的施策・ 事業	重 点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度 評価	推進担当課	
						再 掲	予算額	決算額			
ジェン ダー・フ リーの意 識づくり	2男女平 等をめざ す教育・ 学習の充 実	1学校等 における 男女平等 教育の推 進	男女平等意識の 育成を重視した 教育の推進		教師が全教育活動を通して男女平等教育が 展開されるよう、各教科等のねらいを生かしな がら、男女平等教育推進の視点からかわる 内容を取り上げ、取り組んだ。				4	学校教育課	
			幼児期からの ジェンダーにとら われない教育・ 保育の推進		日々の保育の中で、子どもたちの中にも男だ から女だからという意識が大人によってすりこ まれている姿がみられる中で、男女のちがいを 払拭し、同じ人間としての人権を大切にでき るような保育の取組を行った。				4	保育課	
			学校の諸活動に おける性別によ る固定的な役割 分担の改善		望ましい実践的態度の育成を図るため、児 童・生徒の実態に応じて、男女が一緒に行う 活動にあたっての役割分担や言葉遣いの指 導等を通して、男女平等や男女相互の協力・ 理解等の指導を行った。				4	学校教育課	
			女性センター“サ ンフリー高松”を 利用したジェン ダー学習の実施		高校生を対象に、男女平等意識の高揚と身 近な性差別の気付きとともに、体験学習を通 じて、学校・家庭生活など様々なところで一 人一人が男女共同参画を広められるきっかけ となる男女共同参画学習を実施した。また、イ ンターンシップを受け入れた。 ・男女共同参画学習 開催回数 1回 受講者数 18人 ・インターンシップの受入れ(香川大学学生)				4	男女共同・ 市民参画室	
			教職員の男女平 等やジェンダ ー・フリーに関 する研修の実 施		研修会等において、法的根拠を基に性別役 割分担意識に基づく言動をはじめ、教職員自 らの生き方についても見直しながら、男女平 等教育についての認識を深めた。			17	15	4	学校教育課
			保育施設職員や 子どもにかかわ る関係者のジェ ンダー・フリーに 関する学習・研 修の推進		いろいろな研究会などに参加して学んだり、 職場内研修会でお互いに学びあったことを話 し合い、意識の高揚や研究を推進した。			7,537	7,082	4	保育課
			ジェンダーに敏 感な視点に立っ た教材等の作成		「紙芝居」(CD化したものを含む。)等を活用し て、男女共同参画センターやコミュニティセン ター・公民館等で、男女共同参画意識の高揚 を図った。					4	男女共同・ 市民参画室
			男女共同参画の 視点に立った進 路指導の推進		各教科・道徳・特別活動・総合的な学習と進路 指導との関連を図り、「勤労の尊さや意義を理 解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社 会の発展に努める。」等の職業や労働に関す る内容を取り上げ、生徒一人一人の個性を尊 重し、能力・適正を生かした進路が選択できる よう、充実した指導を行った。					4	学校教育課

基本 目標	主 要 プラン	施策の基 本的方向	具体的施策・ 事業	重 点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度 評価	推進担当課
						再 掲	予算額	決算額		
		2ジェン ダー・フ リーの家 庭環境づ くり	家庭教育啓発パ ンフレット等の作 成と活用		保健センターを通じ、母子健康手帳交付時に併 せて配布した。 ・配布部数 4,000部					5 社会教育課
			PTA研修におけ るジェンダー・フ リーに関する学 習の実施		高松市PTA連絡協議会が、家庭教育支援総 合推進事業(文部科学省委託事業)を受託実 施したため、共催事業としては実施しなかつ た。		10	0		4 社会教育課
			家庭教育学級等 におけるジェン ダー・フリー関 する学習の実施		子を持つ親向けに子育てにおける諸問題や 家族の役割等について学習する機会として家 庭教育学級を開設した。 ・家庭教育学級開設箇所内訳 小学校 48学級(うち、合併町10学級) 幼稚園 29学級(うち、合併町11学級) (77学級) 市民グループ 8学級 計 85学級		2,569	2,327		4 社会教育課
			家庭教育セミ ナーにおける ジェンダー・フ リーに関する学習 の実施		子を持つ親向けに子育てにおける諸問題や 家族の役割等について学習する機会として家 庭教育セミナーを開催した。また、セミナーに 参加できない親向けに、ケーブルテレビの高 松市チャンネルで、テレビ家庭教育セミナーを 放送した。 ・家庭教育セミナー 3コース (子どもの年齢別に2コースと親子向けに1 コース開催) ・テレビ家庭教育セミナー 放送番組数 3本		602	439		5 社会教育課
			父親のための家 庭教育出前講座 におけるジェン ダー・フリーに関 する学習の実施		高松市家庭教育推進協議会事業として、家庭 教育について学習する機会が得にくい父親を 対象に父親のための家庭教育出前講座を実 施した。 ・父親のための家庭教育出前講座 9回		83	75		4 社会教育課
			高齢者に対する 男女平等意識の 啓発の場の提供		老人クラブ連合会の指導者研修会において、 男女平等意識についての啓発を行い、これら 指導者を通じて各地区の高齢者に意識の浸 透を図った。 研修会 - 6月22日～6月30日の7日間、 市内7ヵ所で開催 延べ参加者 716人 ( -1-1再掲)	再	36,106	35,491		4 長寿社会対策課
		3男女平 等意識を 形成する 生涯学習 の推進	公民館等におけ るライフステー ジに応じた多様な 講座の開設		地域住民の多様化した学習ニーズに対応す るため、公民館講座等の各種講座を開設し、 「地域の特色ある学習活動」を推進したほか、 地域における生涯学習推進の指導的役割を 果たす人材養成を目的に、生涯学習リーダ ー養成講座を開設するなど、地域住民の自主活 動の促進を図り、生活課題や地域課題を解決 する場として学習機会を提供した。 公民館主催共催事業(41館+11館) 延参加者数 599,344人 指導者のためのセミナー 1 実施期間 平成19年3月10日～31日 2 実施場所 生涯学習センター 3 延受講者数 30人		21,997	20,790		5 生涯学習センター

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
			ジェンダー・フリーに関する学習機会の充実		高校生を対象に、男女平等意識の高揚を図るため、身近な性差別の気付きを体験し、学校・家庭生活など様々なところで一人一人が男女共同参画を広められるきっかけとなる男女共同参画学習を実施した。 ・男女共同参画学習 開催回数 1回 受講者数 18人					男女共同・ 4 市民参画室
					婦人会や市内で活動している女性グループの自主的な学習活動の場として、女性教室を開設した。 ・地区女性教室 56教室 (うち、合併町17教室) 開設場所 地区公民館、コミュニティセンター ・市民グループ女性教室 8教室 開設場所 男女共同参画センターほか		2,318	2,241		5 社会教育課
			ジェンダー・フリーに関する出前セミナーの実施		企業・学校・地域団体などに出向いて講演会等を開催し、女性問題の解決や男女差別意識の払拭などについて共に考える機会として出前セミナーを実施した。 出前セミナー 開催回数 8回 参加者数 312人					男女共同・ 4 市民参画室
			ジェンダー・フリーに関するリーダー養成講座の開設		男女共同参画社会形成のために重要課題について、理解と認識を深める「自分力アップ・参画セミナー」や男女共同参画エンパワーメントセミナー修了者が地域で講師として活動できるようにするため「男女共同参画講師チャレンジ講座」等を開催し、主体的に職場や地域社会で活動できる人材の育成を図った。 ・自分力アップ・参画セミナー 開催回数 6回 参加者数 424人 ・男女共同参画講師チャレンジ講座 開催回数 4回 参加者数 97人等					男女共同・ 5 市民参画室
			女性の自立を促す学習機会の提供		市民企画講座をはじめとして、講演会・セミナーなど学習研修事業の充実を図った。 ・再就職チャレンジセミナー 開催回数 4回 参加者数 45人 ・コミュニケーション力講座 開催回数 2回 参加者数 56人 ・託児サポーター養成講座 開催回数 6回 参加者数 133人 ・市民企画講座 講座数 7講座 参加者数 426人 ・DV研修 開催回数 1回 参加者数 56人 ・Re・Beワークセミナー 開催回数 1回 参加者数 64人等					男女共同・ 5 市民参画室
			男性の意識改革を進めるためのセミナー等の開催		女性問題解決に向け、パートナーである男性の意識改革を進めるための講座を開催した。 ・自分力アップ・参画セミナー 開催回数 6回 参加者数 424人 ・男女共同参画講師チャレンジ講座 開催回数 4回 参加者数 97人 ・出前セミナー 開催回数 8回 参加者数 312人等					男女共同・ 4 市民参画室
			セミナー等の夜間・休日開催による男性や仕事を持つ人の参加促進		セミナー等の夜間・休日開催による男性や仕事を持つ人の参加促進を図った。 生涯学習カレッジやスタッフ養成講座などに夜間開催講座を取り入れ、仕事帰りの人を対象とした講座を実施した。					4 生涯学習センター

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
			青年を対象としたジェンダー・フリーに関する学習の推進とリーダーづくり		高松市青年連絡協議会の会員が、ジェンダー・フリーに関する各種行事等に参加し、自己の資質の向上に努めるとともに、今後の青年会活動の中で学習した内容を活かすよう努めた。 ・香川県青年問題研究集会 (主催)香川県連合青年会・県教委 (実施時期)平成19年1月20日(土)～21日(日) (実施場所)香川県青年センター(国分寺町)					社会教育課 5(市青連事務局)
			生涯学習情報システムによる情報の提供		高松市生涯学習情報システムにより、文化施設予約、講座・イベント申込、各種生涯情報提供のサービスを提供した。 情報発生源入力により人材情報を登録し提供した。 平成18年度末人材登録者数 累計993件		54,471	49,459	4	生涯学習センター
			人材の登用と活用		高松市生涯学習情報システムにより、文化施設予約、講座・イベント申込、各種生涯情報提供のサービスを提供した。 情報発生源入力により人材情報を登録し提供した。 平成18年度末人材登録者数 累計993件 ( - 2 - 3再掲)	再	54,471	49,459	4	生涯学習センター

基本 目標	主 要 プラン	施策の基 本的方向	具体的施策・ 事業	重 点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度 評価	推進担当課		
						再 掲	予算額	決算額				
あらゆる 分野へ の男女共 同参画の 促進	3施策・方 針決定へ の女性の 参画拡大 の推進	1審議会 等への女 性の参画 拡大の推 進	女性委員のいな い審議会等の解 消		審議会における女性委員の登用率を35%目 標に定めるとともに、審議会等委員への女性 の登用推進要綱や女性の登用推進に努め た。 平成19年3月31日現在 女性委員登用率 28.6%					男女共同・ 3 市民参画室		
			審議会等におけ る女性委員の拡 大		審議会委員への女性委員の拡大を検討し た。							
					次の審議会等において女性委員の登用(3 5%以上)の継続を図った。 行財政改革推進委員会 委員の任期;H16.8.1~19.3.31 委員数15人、女性委員6人			45	0		3 広聴広報課	
					高松市市民葬儀運営協議会委員(定数13人 以内、任期2年)については、現員10人中6 人が女性である。(委嘱期間平成18年6月1 日~平成20年5月31日) ・平成18年度開催状況 H18.7.19日開催し、委員11人中出席者1 0人のうち女性は6人全員が出席し、発言も多 かった。 ・期間中、男性委員6人女性委員5人で構成 されていたが、任期満了に伴い男性委員1人 減となり、女性委員6人に委嘱した。なお、男 性委員1人がH19.3.11に死去した。			70	62		5 企画課	
					<事業状況> 高松市農業基本対策審議会 年0回開催 委員数10名(10名以内) 女性委員の構成比率 30% 高松市担い手育成総合支援協議会 年3回開催 委員数13名(若干名) 女性委員の構成比率 31% 高松市分収造林審議会 年0回開催 委員数4名(7名以内) 女性委員の構成比率 50% 高松市森林病害虫等防除地区連絡協議会 年1回開催 委員数12名(若干名) 女性委員の構成比率 33% <成果> 全委員における女性委員の構成比率 33.3%			477	152		5 農林水産課	
					平成20年7月の農業委員改選に向け、2号 委員(議会推薦)への女性の登用など、引き 続き市議会議長等に働きかけた。							農業委員会 3 事務局
					審議会等におけ る女性の委員長 (座長)の拡大		平成19年4月1日現在 ・女性委員登用率 28.6% ・女性委員長(座長) 6機関					男女共同・ 3 市民参画室

基本 目標	主 要 プラン	施策の基 本的方向	具体的施策・ 事業	重 点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度 評価	推進担当課
						再 掲	予算額	決算額		
			審議会等における市民公募委員の採用拡大		平成19年4月1日現在 ・対象機関数 125機関 ・委員の公募を行った附属機関数 23機関 (男性8人 女性27人 合計35人)				3	庶務課
					次の審議会等における市民公募委員の採用を継続した。 行財政改革推進委員会 委員の任期;H16.8.1~H19.3.31				5	企画課
			審議会等の委員構成のあり方の検討		高松市消防団員にかかる退職報償金支給条例第6条に関する審査 構成員として女性の積極的登用についての検討 審査該当事案無				3	消防局総務課
			事業所・団体等における方針決定への女性の参画拡大の働きかけ		国、県等の関係機関から提供された関係情報をカウンターに設置し、希望者に配布した。平成18年9月から、関係情報を一般市民向けに広く広報するため、ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行った。				4	商工労政課
		2女性の管理職への登用の推進	市の女性職員の管理職員への登用の推進		平成19年3月31日現在 全管理職員中女性管理職員の割合 8.9% 平成19年4月1日現在 全管理職員中女性管理職員の割合 9.0%				3	人事課
			女性教職員の管理職への登用の推進		平成19年3月31日現在 女性教職員の管理職の割合 32.9% 平成19年度の女性管理職登用については、香川県教育委員会に要望した。				3	学校教育課
			事業所における女性の管理職登用などのポジティブ・アクションについての先進的取組みの紹介		たかまつ男女共同参画白書や各種啓発資料の配布等により、男女共同参画社会実現に向けての女性の参画を推進するとともに、男女共同参画における企業等の先進事例や女性登用についての先進的な取組みをセミナー等で紹介した。				4	男女共同・市民参画室
					国、県等の関係機関から提供された関係情報をカウンターに設置し、希望者に配布した。平成18年9月から、関係情報を一般市民向けに広く広報するため、ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行った。				4	商工労政課

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課	
						再掲	予算額	決算額			
		3女性の 人材育成 と活用	リーダーシップを 発揮できる女性 の人材育成		これまでの男女共同参画エンパワメントセミナー修了者が地域で講師として活動できるようになるため、「男女共同参画講師チャレンジ講座」等を開催した。 ・自分力アップ・参画セミナー 開催回数 6回 参加者数 424人 ・男女共同参画講師チャレンジ講座 開催回数 4回 参加者数 97人 ・託児サポーター養成講座等 開催回数 6回 参加者数 133人等					男女共同・ 4 市民参画室	
			女性登用促進の ための女性人材 データの充実		女性登用促進のため、女性人材データの活用を促進した。						男女共同・ 3 市民参画室
			女性のエンパ ワメントのため の学習の充実		女性・男性のエンパワメントを支援するセミナー等を開催し、主体的に地域社会で活動できる人材の育成を図った。 ・自分力アップ・参画セミナー 開催回数 6回 参加者数 424人 ・再就職チャレンジセミナー 開催回数 4回 参加者数 45人 ・コミュニケーション力講座 開催回数 2回 参加者数 56人 ・市民企画講座 講座数 7講座 参加者数 426人等						男女共同・ 4 市民参画室
			女性団体・人材 のネットワー クの促進		男女共同参画センターを拠点に女性の自立と男女共同参画社会の実現を目指す市民活動の活性化を図るため、登録団体交流会を行うとともに、2006年合併記念男女共同参画市民フェスティバルを開催した。また、18年12月から毎月22日に参画センターにここおしゃべり会を開催し、情報交換できる場の提供に取り組んだ。 ・登録団体交流会 開催回数 2回 72団体 参加者数 116人 ・2006年合併記念男女共同参画市民フェスティバル 11/20～11/26 参加者数 3,850人 ・参画センターにここおしゃべり会 開催日 毎月22日(4回) 参加者数 40人						男女共同・ 5 市民参画室

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課		
						再掲	予算額	決算額				
あらゆる分野への男女共同参画の促進	4地域社会における男女共同参画の促進	1地域活動への参画拡大の促進	地域における男女共同参画の必要性の啓発		男女平等社会の実現を図るため、企業・学校・地域団体などに出向いて講演会等を開催し、女性問題の解決や男女差別意識の払拭などについて共に考える機会として出前セミナーや合併町でのイベントも含めた2006年合併記念男女共同参画市民フェスティバルを開催した。 ・出前セミナー 開催回数 8回 参加者数 312人 ・2006年合併記念男女共同参画市民フェスティバル 11/20～11/26 参加者数 3,850人					男女共同・4 市民参画室		
			自治会等地域における各種団体への男女共同参画についての情報提供		地域活動への女性の参画拡大を促進するため、自治会員等を対象とした人材養成研修の受講者を女性優先にするなど、女性の人材養成に努める中で、男女共同参画についての情報提供を行った。							
			働く女性や男性、若者など地域とかがわりが希薄となりがち な人々の参加しやすい事業の実施促進		講座・セミナー等の開催日時を考慮し、夜間や休日に開催するなど、働く人や男性・若者などで、地域とかがわりが希薄となりがち な人々が参加しやすい事業を実施するとともに、男女平等社会の実現を図るため、企業・学校・地域団体などへの出前セミナーを実施した。 ・出前セミナー 8回 参加者数 312人 ・市民企画講座 7講座 参加者数 426人等							男女共同・4 市民参画室
			家庭教育について学習する機会が得にくく、子どもとふれあう時間も不足しがちな父親等対象に、家庭教育力の向上を図ることを目的に開催した。 ・家庭教育セミナー Cコース(親子向け)						263	249		4 地域振興課
			男性が少ない活動への男性の参画拡大の促進		講座・セミナー等の開催日時を考慮し、夜間や休日に開催するなど、働く人や男性・若者などで、地域とかがわりが希薄となりがち な人々が参加しやすい事業を実施するとともに、企業・学校・地域団体などへの出前セミナーを実施した。 ・出前セミナー 8回 参加者数 312人 ・市民企画講座 7講座 参加者数 426人等							
			地域ふれあい交流事業の実施		地域ふれあい交流事業の実施を促進し、女性と男性がともに地域活動に積極的に参加しやすい環境づくりに努めた。 ・平成18年度 30地区(校区)で実施							
			世代間交流の促進		公民館で開催の高齢者教室において世代間交流を実施した。 ・高齢者教室 51教室(うち、合併町10教室) 開設場所 地区公民館、コミュニティセンター							
									574	411		5 社会教育課
						18,190	13,325		4 地域振興課			
						2,543	2,352		4 社会教育課			

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
			男女共同参画に関する市民活動のネットワーク化の促進		男女共同参画センター登録団体相互の交流とネットワーク化を推進し、男女共同参画センターを拠点に女性の自立と男女共同参画社会の実現を目指すとともに、広く市民に呼びかけ、ネットワークの拡充を図るため、2006年合併記念男女共同参画市民フェスティバルを開催した。 ・登録団体交流会 2回 72団体 参加者数 116人 ・2006年合併記念事業男女共同参画市民フェスティバル 11/20～11/26 参加者数 3,850人					男女共同・ 4 市民参画室
			公民館の日曜開館の活用		公民館等利用者層の拡大と学習機会の充実を図るため、全公民館の日曜開館を実施し、市民の学習活動の振興を図った。					4 生涯学習センター
	2	地域活動において女性が正当に評価される風土づくり	自治会等地域における各種団体の意思決定過程への女性参画の促進		自治会活動を通じて、自治会への女性の参加、女性の役員就任など、地域社会で女性を正当に評価する風土づくりを進めた。					3 地域振興課
			地域における女性団体の自主的活動の支援		高松市婦人団体連絡協議会への活動支援を行った。特に、18年度は市長との市政懇談会の実施により、男女共同参画の視点から今後のまちづくり等について意見交換したり、また、地域へ出向いて出前セミナーを開催するなど、高松市合併に伴う新しい地域を含め、各地域における女性団体の自主的活動を促進した。		1,852	1,852		男女共同・ 5 市民参画室
					婦人会や市内で活動している女性グループの自主的な学習活動の場として、女性教室を開設した。 ・地区女性教室 56教室 (うち、合併町17教室) 開設場所 地区公民館、コミュニティセンター ・市民グループ女性教室 8教室 開設場所 男女共同参画センターほか		2,318	2,241		5 社会教育課
			女性の活動の紹介		男女共同参画センターの登録団体については、個人情報の保護に配慮し、団体の承諾を得て、公開可能な情報リストをセンター情報交流室において開示し、会員や団体の活動を知りたい市民等に紹介した。また、登録団体交流会やフェスティバルの中でグループ活動の紹介を行った。 ・登録団体数 143団体(19年3月末現在)					男女共同・ 4 市民参画室
	3	ボランティア活動等市民活動の促進	市民活動と行政との協働に関する基本計画の推進		協働づくり委員5名のうち、3名を女性委員とし、様々な視点から協働推進について検討を行った。 ・市民活動団体と行政との協働に関する基本計画進捗状況検討 ・同計画見直しに当たっての協議 ・協働推進の一環としての協働企画提案事業の審査 ・ボランティア・市民活動センターの管理運営委託について事業評価		126	117		男女共同・ 3 市民参画室

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
			協働推進に関する指針の策定		「NPOと行政の協働を進めるための指針」をテキストとして、職員の協働に関する知識・必要な技術の習得を目的に職員研修を実施し、積極的な協働への取り組みを促すことに努めるとともに、ボランティア・市民活動センターとの共催でNPOと市職員合同の協働推進人材養成講座を開催。					男女共同・ 3 市民参画室
			協働の拠点としてのボランティア・市民活動センターの運営と事業の実施		ボランティア・市民活動センターの管理運営を特定非営利活動法人(NPO法人)に委託することにより、中間支援機能を拡充し、市民の視点からの効果的・効率的なNPO基盤強化と協働支援の充実を図った。また、市との情報交換、意見交換の場として定例会を毎月行った。受託法人には、約半数の女性理事、雇用職員は女性であることなどから、女性の意見も積極的に反映できる体制となっている。 センター利用者数・・・3,025人 ・センター事業の実施 相談事業 情報収集・提供事業(情報誌4回発行,メルマガ月2回発行,ホームページ) 調査研究事業(新しい公の報告書作成) 研修事業(3回) 交流・コーディネート事業(交流会8回) 活動拠点事業 その他事業(にぎわい創出等事業)		9,989	9,418		男女共同・ 3 市民参画室
			市民活動情報の提供		市民活動関連の情報収集・提供等を行った。センターにおける情報掲示やチラシ配置センターHPの維持管理(随時更新)センター情報誌の発行(年4回発行)CATVでの情報発信メルマガ発行(毎月2回)決算については、協働の拠点としてのボランティア・市民活動センターの運営と事業の実施の項目にあげている予算9,418千円に含む。 ( -4-3再掲)	再	9,989	9,418		男女共同・ 3 市民参画室
			人材育成のための講座等の実施		協働推進人材養成講座の実施。ボランティア・市民活動センターと連携しながら、市民・企業・行政の協働によるまちづくりを推進するため、市民・NPO関係者・行政職員を対象に、人材養成講座を専門的・体系的に行うよう努めた。 協働に関する講座(職員対象) 3回 具体的な協働の課題を設けたワークショップ形式の交流会等 8回 決算については、協働の拠点としてのボランティア・市民活動センターの運営と事業の実施の項目にあげている決算9,418千円に含む。 *NPO法人への管理運営委託に伴い、実施主体のボランティア・市民活動センター運営委員会は廃止。 ( -4-3再掲)	再	9,989	9,418		男女共同・ 3 市民参画室
			託児ボランティアなどジェンダー・フリーにかかわるボランティア活動の促進		託児のつどいや託児協力者のつどいを開催し、託児ボランティアの資質を高め、その活動を支援した。 ・託児のつどい 開催回数 1回 参加者数 81人 ・託児協力者のつどい 開催回数 1回 託児協力者数 19人					男女共同・ 4 市民参画室

基本 目標	主 要 プラン	施策の基 本的方向	具体的施策・ 事業	重 点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度 評価	推進担当課
						再 掲	予算額	決算額		
					託児ボランティアなどジェンダー・フリーにかかわるボランティア活動を促進した。		799	502	4	生涯学習センター
			ボランティア休暇制度の導入促進と活用促進		特別休暇(ボランティア休暇)の取得: なし				3	人事課

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
あらゆる分野への男女共同参画の促進	5国際交流の場への参画の促進	1異文化を理解するための機会や情報の提供	国際理解講座や日本文化体験講座などの相互理解を深めるための学習機会の提供		<p>南昌市中学生訪問団の受入れは、南昌市の都合により中止。 8月14日に外国人45人を含む82人の「国際交流おどり子連」で高松まつりに参加。 9月17日に11か国21組、35人が出場、入場者約300人。 1月14日に「さぬき国際交流お正月会」開催、180人参加。 3月24日～29日まで、訪中団18人(中学生15人)を派遣し、学生たちと交流を深めた。</p>					4 秘書課国際交流室
					<p>香川県、県国際交流協会、高松市国際交流協会ほかとの共同開催により、かがわ国際フェスタ2006を開催した。 2006JCI-ASPAC高松大会と合同開催 ・期間 5月27日(土)、28日(日) ・場所 サンポート高松 ・参加者 約4万人</p>					5 秘書課国際交流室
					<p>世界各国におけるジェンダーに関する問題についての理解を深めるための情報収集・提供 女性問題や男女共同参画に関する図書・ビデオを収集し、男女共同参画センターの情報・交流室で、市民に閲覧・貸出しを行った。 平成19年3月末現在 収集数 図書 2,185冊、ビデオ 103本、雑誌7種 貸出数 図書 239冊、ビデオ 21本</p>					男女共同・ 4 市民参画室
					<p>在住外国人に対する資料・情報の提供 (財)高松市国際交流協会において、次の事業を行った。 ・外国人向け情報誌かわら版の年2回の発行 ・英語表記地図、生活ガイドブック等の配付 ・インターネットのホームページによる、国際交流活動などの情報提供 日本語、英語、中国語対応</p>					4 秘書課国際交流室
					<p>語学能力のある職員を通訳サポーターとして任命(委嘱)し、各課からの依頼に応じて派遣した。 国際交流室のHPに英語を併記し、多言語化を図った。</p>					4 秘書課国際交流室
					<p>姉妹・友好都市との研修生等の相互派遣 ・高松日中友好協会が、日本語講師を派遣した。</p>					4 秘書課国際交流室
					<p>平成18年7月1日から8月2日の約1か月間、セント・ピーターズバーグ市親善研修生2人が市内の8家庭でホームステイを行った。 一般市民からの公募により、平成17年9月から平成18年5月まで9か月間教員を日本語教師として1人派遣した。</p>					5 秘書課国際交流室
					<p>姉妹・友好都市などの交流体験等の発表機会の提供や広報による周知 ・団員 18人(中学生15人) ・派遣期間 3月24～29日の6日間 ・派遣先 南昌市、上海、北京 ・成果 団員全員で民謡等を発表し、好評を得た。 ・報告書 帰国後、体験談を報告書にまとめた。</p>	110	104			4 秘書課国際交流室

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課		
						再掲	予算額	決算額				
			市民・地域団体における身近な国際交流の促進		<p>南昌市中学生訪問団の受入れは、南昌市の都合により中止。</p> <p>8月14日に外国人43人を含む82人の「国際交流おどり子連」で高松まつりに参加。</p> <p>9月17日に11か国21組、35人が出場。入場者約300人</p> <p>登録者数128人</p> <p>後援12件、共催4件、事業費助成3件</p> <p>1月15日に「さぬき国際交流お正月会」開催。約180人参加</p> <p>3月24日～29日まで18人(中学生15人)の訪問団が訪中し、学生たちと交流を深めた。</p> <p>国際交流情報誌の発行など</p> <p>TIAニュースを年2回発行(各1000部)</p>					4	秘書課国際交流室	
			国際交流ボランティアの登録と活用		<p>ホームビジット、情報誌の作成、かがわ国際フェスタの運営などにおいて活躍の場を提供した。</p> <p>登録者数 約128人</p>						4	秘書課国際交流室
			青年や女性の海外派遣などによる国際的視野を持った地域リーダーの養成		<p>香川県「女性友好の翼」実行委員会主催の事業に市民を派遣し、海外の男女共同参画を学ぶとともに、関係機関、団体等との交流を通して国際的視野を持ったリーダーの育成を図った。</p> <p>・派遣人員 1人</p> <p>・派遣期間 9日間</p> <p>・派遣先 フィンランド・ドイツ</p>						4	男女共同・市民参画室
			平和に関する情報収集・提供		<p>戦争の悲惨さと平和の尊さを訴えるとともに、平和を願う市民の心を永久に継承していくため常設展示のほか、関係資料等の収集・保存に努める一方、憲法記念平和映画祭、平和を語るつどいなどの事業のほか、市民文化センター開館30周年記念事業として、収蔵品巡回展、収蔵品展、平和記念親子映画会の事業を実施した。</p> <p>・高松空襲写真展(展示点数33点)</p> <p>・高松市戦争遺品展(展示点数143点)</p> <p>・平和記念室収蔵品展(展示点数36点)</p> <p>・平和記念室収蔵品巡回展(展示点数44点)</p> <p>・高松空襲写真パネル巡回展(展示点数15点)</p> <p>・資料収集 119件</p>		11,935	11,738		4	市民文化センター	
			平和の啓発のための講演会等の開催		<p>戦争の悲惨さと平和の尊さを訴えるとともに、平和を願う市民の心を永久に継承していくため常設展示のほか、関係資料等の収集・保存に努める一方、憲法記念平和映画祭、平和を語るつどいなどの事業を実施した。</p> <p>・憲法記念平和映画祭(参加者142人)</p> <p>・「平和を語るつどい」朗読劇公演(参加者105人)</p> <p>・教職員のための平和教育講演会(参加者60人)</p> <p>( -5-2再掲)</p>	再	11,935	11,738		4	市民文化センター	

基本 目標	主 要 プラン	施策の基 本的方向	具体的施策・ 事業	重 点	事業状況および成果	事業費(千円)		達成度 評価	推進担当課				
						再 掲	予算額			決算額			
男女が ともにい きいきと 働き続け る環境づ くり	6仕事と 家庭等の 両立ライ フの支援	1仕事と 家庭生 活・地域 活動の両 立ライフ についての 意識啓発	啓発資料の収 集,作成,配布		高松市連合自治会連絡協議会が発行している「自治会だより」により,自治会活動その他の情報提供を行い,地域活動(コミュニティ活動)への積極的な参加など意識啓蒙活動に努めた。 ・年一回発行(3月)13万部				4	地域振興課			
					女性問題や男女共同参画に関する図書・ビデオを収集し,男女共同参画センターの情報・交流室で,市民に閲覧・貸出しを行った。 平成19年3月末現在 収集数 図書 2,185冊,ビデオ 103本,雑誌7種 貸出数 図書 239冊,ビデオ 21本				4	男女共同・ 市民参画室			
					1 次代の高松を担う子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりを進めるため,総合的・体系的に取り組む指針として策定した「高松市こども未来計画」の趣旨を広く市民に啓発するため,各種の機会を捉えて計画書を配布した。 また,合併に伴い高松市と各町策定の次世代育成支援対策総合計画の整合性を図った「高松市こども未来計画」の概要版を作成し配布した。 2 子育てハンドブック「すこやか」の配布				4	こども未来課・ 保育課			
					意識啓発のためのセミナー等の開催	女性問題の解決や女性と男性の個性・能力の活用と人材育成の講座などを開催した。 ・自分力アップ・参画セミナー 開催回数 6回 参加者数 424人 ・出前セミナー 開催回数 8回 参加者数 312人 ・再就職チャレンジセミナー 開催回数 4回 参加者数 45人等				4	男女共同・ 市民参画室		
						保育所における育児講座,育児相談を通して,育児は男女が協力して行い,仕事と両立しなければならないという認識を啓発した。 (1)地域子育て支援センター事業 ・私立保育所 10か所(うち,合併町5か所) ・その他 2か所(うち,合併町1か所) (2)地域子育て推進事業 ・公立保育所 23か所(うち,合併町2か所) ・私立保育所 19か所	96,344	84,534	4	こども未来課・ 保育課			
					職業生活と家庭・地域生活との両立ライフを支援する事業所の取組みの紹介	たかまつ男女共同参画白書や各種啓発資料等を活用しながら,男女共同参画社会実現に向けての女性の参画や仕事と家庭の両立ライフ支援の意識啓発を行うとともに,男女共同参画における企業等の先進事例や女性登用についての先進的な取組みをセミナー等で紹介した。				4	男女共同・ 市民参画室		
						国,県等の関係機関から提供された関係情報をカウンターに設置し,希望者に配布した。平成18年9月から,関係情報を一般市民向けに広く広報するため,ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し,関係情報の提供を行った。また,平成18年9月に,「子育て支援中小企業表彰制度」を創設し,平成19年1月に6企業・団体の表彰を行った。				4	商工労政課		
					2多様な ニーズに 対応した 保育サー ビスの充 実	乳児保育,延長保育,休日保育等の実施	平成18年度において,公立保育所では31か所を実施,また,私立保育所においては30か所を実施し,乳児保育の充実に努めた。 乳児保育実施保育所 ・公立保育所 31か所(うち,合併町9か所) ・私立保育所 30か所(うち,合併町5か所)			55,903	49,784	4	保育課

基本 目標	主 要 プラン	施策の基 本的方向	具体的施策・ 事業	重 点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度 評価	推進担当課
						再 掲	予算額	決算額		
					午後7時程度までの延長保育を公立保育所で23か所、私立保育所で25か所、計48保育所で実施し、また、午後8時までの延長保育を2か所、午後12時までの延長保育を1か所、夜間保育所の午前7時から午前11時までの延長保育を1か所、計4保育所の合計52か所で延長保育を実施した。 延長保育実施保育所 ・公立保育所 30分延長保育 23か所 (うち、合併町9か所) ・私立保育所 30分延長保育 1か所 1時間延長保育 24か所 (うち、合併町3か所) 長時間延長保育 2時間延長保育 2か所 (うち、合併町1か所) 4時間延長保育(夜間保育) 1か所 6時間延長保育 1か所		236,519	222,318	3	保育課
					障害児保育実施保育所 ・公立保育所 28か所(うち、合併町9か所) ・私立保育所 21か所(うち、合併町3か所)		112,392	93,614	3	保育課
					多様な保育需要に対応するため、私立保育所で休日保育を実施した。 休日保育実施保育所 ・私立保育所 2か所 (なお、上記以外に私立保育所2か所において、地域子育て支援センター事業の中で、休日保育を実施した。)		18,628	16,806	4	保育課
					多様な保育需要に対応するため、夜間保育を実施した。 夜間保育実施保育所 ・私立保育所 1か所		1,500	1,500	4	保育課
			一時保育、病後 児保育等の実施		保護者の断続的・短時間就労等の就労形態の多様化に伴う一時的な保育や保護者の傷病等による緊急時の保育などの一時的な保育に対する需要に対応するため、公立保育所6か所、私立保育所22か所において一時保育を実施した。 一時保育実施保育所 ・公立保育所 6か所 (うち、合併町3か所) ・私立保育所 22か所 (うち、合併町4か所) (なお、上記以外に私立保育所2か所において、地域子育て支援センター事業の中で、緊急一時保育を実施した。)		39,179	35,955	3	保育課
					子育てと仕事の両立支援の一環として、保育所等に通所する児童が病気回復期にあり、保護者が仕事や冠婚葬祭で子どもの面倒を見られない場合に、医療機関等に付設された施設で、看護師や保育士が保護者に代わって子どもを保育する「病後児保育」を実施する。 病後児保育実施施設 医療機関(委託) 3か所 公立保育所 1か所(合併町) 医療機関付設施設では、病児にも対応。		22,072	24,043	4	こども未来課

基本 目標	主 要 プラン	施策の基 本的方向	具体的施策・ 事業	重 点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度 評価	推進担当課	
						再 掲	予算額	決算額			
			保育所入所待機児童解消のための受入れ体制の充実		保育所入所待機児童解消のため、定員を100人増やす増築を私立保育所3か所で行うために国へ次世代施設整備交付金の協議申請を行い、3か所の増築を行った。		68,100	68,100	5	保育課	
			保育所入所待機児童解消のための幼稚園での預かり保育の実施		未実施					1	学校教育課
			認可外保育施設に対する助成や保育士等の研修の実施		認可外保育施設へ入所している児童の福祉の向上を図るため、概ね年間を通じて児童数が6名以上の施設に対し、保育用品等の購入に対して補助を行ったほか、職員の健康診断に要する経費を助成した。また、認可外保育施設、事業所内保育所、院内保育所、企業委託型保育施設を対象に保育士の資質の向上を図るため、県と市合同で研修を行った。(主催は隔年で県と市で行い、事業費については子ども未来財団負担。)		9,398	10,133	3	保育課	
		3児童の放課後対策の充実	留守家庭児童会の開設		放課後、著しく保護監督に欠ける小学校低学年の児童を対象に留守家庭児童会を組織し、児童の健全育成を図るため、新たに、川岡校区、下笠居校区において開設した。 ・留守家庭児童会開設校区 34校区 (うち、合併町1校区) 入会児童延べ人数 15,180人 (月平均 1,265人)		216,837	209,499	5	社会教育課	
			学童保育の拡充		保育所において、地域の需要を見極める中で、学童保育を実施した。 実施施設等 ・私立保育所 8か所(うち、合併町1か所) (上記以外に地域子育て支援センター事業で1か所実施した。)		17,800	15,517	4	保育課	
			放課後児童クラブの充実		「小学校に就学している1年生～3年生の児童であって、その保護者が就労等により、昼間家庭にいないもの」を対象とし、「授業の終了後に児童厚生施設等の施設を利用して、適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る」ことを目的として開設されている放課後児童クラブを市が委託して実施している1クラブをはじめ9クラブの管理運営に努めた。 ・公立 9(合併町) ・委託 1		53,814	60,333	4	子ども未来課	
		4子育て環境の整備促進	事業所内の託児施設設置の働きかけ		国、県等の関係機関から提供された関係情報をカウンターに設置し、希望者に配布した。平成18年9月から、関係情報を一般市民向けに広く広報するため、ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行った。また、平成18年9月に、「子育て支援中小企業表彰制度」を創設し、平成19年1月に6企業・団体の表彰を行った。					3	商工労政課
			完全学校週5日制に対応した学校開放や公民館事業、文化施設無料開放の実施		完全学校週5日制に対応して、子どもたちに豊かな生活体験や活動体験の場を提供するための各種講座を充実させた。 公民館講座(学校週5日制対応講座)(41館+11館) 延べ開催回数851回		2,041	3,795	5	社会教育課・生涯学習センター	

基本 目標	主 要 プラン	施策の基 本的方向	具体的施策・ 事業	重 点	事業状況および成果	事業費(千円)		達成度 評価	推進担当課	
						再 掲	予算額			決算額
					小中学生について常設展の全日無料開放を実施した。(ただし、特別展は有料で春休み・夏休み・冬休みを除く土曜日は無料) (成果)小中学生1,220人 休業土曜日(夏休み・冬休み・春休みは除く)に、高校生・中学生・小学生を対象に無料開放を実施した。 (成果)高校生11人,中学生22人 小学生233人		0	0	5	歴史資料館
					【中央図書館】 にこにこおはなしひろば,なかよしかみしばい,伝々虫のおはなし会,おはなしのかけはし,本さんこんにしは,ひよこの学校,ゆりかごおはなし会,わらべうたであそぼう,かかのはなし,ぼくたち昆虫探偵団,おひさまおたのしみ会,手作りおもちゃ講座,夏のおたのしみ会,子どもへのまなざし,さわる絵本製作講習会,のはらうたのなかまをつくろう,第2回こども読書まつり,クリスマスおたのしみ会を開催。参加者数約4,000人 【松島図書館】 親子でつくろう「マイうちわ」,4人のサンタがやってきたを開催。参加者数約160人 【牟礼図書館】 アクセントのおはなし会,クリスマスおはなし会,子育てホットライン,図書館体験学習講座を開催。参加者数約400人 【国分寺図書館】 おはなしポケット,おはなしポケットのクリスマス会,子ども読書活動推進事業を開催。参加者数365人		772	433	5	中央図書館
					学校週5日制に伴う休業土曜日に,児童・生徒に常設展・特別展を無料開放した。 義務教育諸学校の児童・生徒は,常設展を年間を通じて無料開放した。 入場者数 常設展 387人 特別展 4人		0		4	菊池寛記念館
					菊池寛の作品等のうち,小・中学生にも理解ができ,親子で楽しめるものを,朗読により紹介した。 上演作品「入れ札」 「女たちの忠臣蔵」ほか 期 日 平成19年3月10日 場 所 サンクリスタル高松3階 視聴覚ホール 入場者数 232人		118	118	4	菊池寛記念館
					・完全学校週5日制に伴うプラネタリウム無料開放 免除とする日は土曜日(学年始・夏季・冬季・学年末休業日に当たる場合を除く。) 免除する者は,幼稚園・小学校・中学校・高等学校および盲・ろう・養護学校の小学部・中学部・高等学部在学する園児,児童または生徒 参加状況 1,161人				4	市民文化センター
			民間児童館の整備促進		児童の健全な育成および資質の向上を図るため,自然体験行動事業や子どもボランティア育成支援事業を行う民間児童館を運営する社会福祉法人に対して,補助金の交付を行う。 民間児童館実施か所 1か所		610	610	3	こども未来課

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
			子どもの生涯学習などの拠点施設としての市民文化センターの機能の充実		・春および秋のこども教室(クラブ活動学習)の実施 学習を通じて仲間づくりや自立性を育て情緒豊かな青少年の育成を目的とする。 対象 市内在住の5・6歳,小学生 参加実績 春206人(10コース) 秋130人(5コース) 夏休み478人(17コース)		1,716	1,197	4	市民文化センター
					・センター学習 学校外学習の一環として5月から2月までの期間に各学校が1日実施 対象 小学5年生, 中学1年生 参加校 小学校52校, 中学校12校 (中学校は希望製による。) 参加実績 小学校52校 3,887人 中学校12校 1,715人		14,747	14,026	4	市民文化センター
					・たなばたまつり 幼稚園・保育所などの園児を対象とした、プラネタリウムや各展示室での幼児向け学習を実施した。 参加実績 3,572人(103園)				4	市民文化センター
					・天体写真展 小・中・高校生を対象とした天体写真の作品を募集し, 展示した。 実績 展示期間18.1.27~2.12 応募点数 108点		115	97	4	市民文化センター
			地域子育て支援センター, 地域子育て推進事業などによる子育て情報の提供, 育児相談の充実		1 保育所における育児講座, 育児相談, 子育てサークルの支援等を通して, 子育て情報の提供, 育児相談の充実を図った。 (1)地域子育て支援センター事業 ・私立保育所 10か所(うち, 合併町5か所) ・その他 2か所(うち, 合併町1か所) (2)地域子育て推進事業 ・公立保育所 23か所(うち, 合併町2か所) ・私立保育所 19か所 2 次代の高松を担う子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりを進めるため, 総合的・体系的に取り組む指針として策定した「高松市こども未来計画」の趣旨を広く市民に啓発するため各種の機会を捕らえ, 子育て情報の提供に努めた。また, 市民相談コーナーの育児相談員による育児相談を実施することによって, 相談事業の充実にも努めた。 3 子育てハンドブックを配布した。 ( -1-4再掲)	再	100,902	87,883	4	こども未来課・保育課
			児童館の管理運営		児童に健全な遊びを与えて, その健康を増進し, 情操を豊かにすることを目的として設置している児童館の管理運営に努めた。 ・児童館数 11(合併町)		50,994	45,820	3	こども未来課
			ひとり親家庭等に対する相談, 情報提供の充実		ひとり親家庭等の生活の安定と自立を図るため, 母子自立支援員等が, ひとり親家庭のかかえるさまざまな問題や悩みごとの相談に応じるとともに, 各種助成制度の情報提供に努めた。 母子自立支援員2人 相談日時 月曜日~金曜日 9時~16時 相談件数 2,133件		4,281	4,243	4	こども未来課

基本 目標	主 要 プラン	施策の基 本的方向	具体的施策・ 事業	重 点	事業状況および成果	事業費(千円)		達成度 評価	推進担当課	
						再 掲	予算額			決算額
			母子生活支援施設による援助・指導		監護する児童の福祉に欠けることが原因で入所している母子家庭の母等に対して、生活指導や支援を行うことにより、監護する児童の福祉を図るとともに、母子家庭の生活の安定と自律の促進を図った。 屋島ファミリーホーム 7世帯入所(H19.3.31日現在)		18,769	20,253	4	こども未来課
			医療費の助成、福祉金の支給などの実施		母子等医療費助成事業 母子家庭等の者に対して、保険診療に係る自己負担部分を助成する。 受給者数 9,388人		347,686	321,777	4	保険年金課
					1 母子家庭等の児童の福祉の増進を図るため、母子家庭児等福祉金年額15,000円を支給した。 市内に1年以上住所を有する義務教育終了前の児童の保護者で、 児童の父またはそのいずれかが死亡もしくは3年以上生死がわからないもの 該当者 291人 2,999,000円 児童扶養手当の支給を受けている母、または養育者 該当者 3,675人 55,125,000円		71,419	74,940	4	こども未来課
			福祉資金の貸付などの実施		母子家庭の母等の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、あわせてその扶養している児童(子)の福祉の向上を図るため、各種資金の貸付を行った。 母子福祉資金貸付 192件 105,312,560円 寡婦福祉資金貸付 6件 4,485,600円		109,684	109,799	4	こども未来課
			子育て支援のための母子家庭等日常生活支援事業の実施		母子家庭、寡婦および父子家庭の福祉の増進を図るため、家庭生活支援員派遣対象登録世帯の母子家庭の母等が、自立のために必要な修学や疾病などの理由により一時的に介護を必要とする場合、または、父子家庭等となって間がなく、子どもの世話等介護を必要とする場合に、介護人を派遣し必要な介護、保育等を行う事業を実施したが、利用者はいなかった。		18	0	1	こども未来課
			子育て短期支援事業などの支援の充実		保護者が、疾病、仕事その他の社会的理由により、家庭における児童の養育等が困難となる場合や、母子が緊急かつ一時的に保護を必要とする場合に、児童福祉施設において児童または母子を一時的に養育、保護することにより、児童およびその家庭の福祉の向上を図った。 利用人数 延べ35人		755	211	4	こども未来課
		6 介護サービスの充実	介護支援にかかる情報の収集と提供		平成19年度を目標に高松市社会福祉協議会が進めている地域福祉活動計画の策定作業に対し、策定幹事会に出席する中で、情報提供等を行うなど、その支援に努めた。					4 健康福祉総務課
					パンフレットの作成・配布 市政出前ふれあいトークの実施(144回) 広報「たかまつ」に随時掲載(4月2回、6月、7月、8月、9月、10月、11月、2月の9回) インターネットの活用、HPの随時更新		1,587	682	4	介護保険課

基本 目標	主 要 プラン	施策の基 本的方向	具体的施策・ 事業	重 点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度 評価	推進担当課
						再 掲	予算額	決算額		
			高齢者在宅サ ービスの実施		居宅サービス(地域密着型サービスを含む) 利用者数 (年間平均)11,695人 減額認定証交付人数(低所得者) 69人 減額認定証交付人数(社会福祉法人)253人 在宅・施設の合計		11,952,861	12,890,713	4	介護保険課
					在宅の高齢者に対し、生きがいデイサービス 事業や緊急通報装置の貸与など、適切な福 祉サービスを提供した。		627,510	517,838	4	長寿社会対策課
			高齢者施設サ ービスの実施		施設サービス利用者(年間平均) 介護老人福祉施設 1,400人 介護老人保健施設 1,007人 介護療養型医療施設 295人 合計 2,702人 減額認定証交付人数(社会福祉法人)253人 在宅・施設の合計		9,849,606	9,007,049	4	介護保険課
					身体・精神・環境上および経済上の理由によ り、居宅において養護を受けることが困難な 高齢者に、養護老人ホームへの入所を行っ た。		484,895	402,129	5	長寿社会対策課
			訪問介護の充実		訪問介護利用回数 年間590,022回 減額認定証交付人数(低所得者) 69人 減額認定証交付人数(社会福祉法人)253人 在宅・施設の合計		2,243,694	2,347,047	4	介護保険課
			老人介護支援セ ンターなどの整備		社会福祉法人等が整備する施設に対し、整 備事業費の一部を助成した。ただし、老人介 護支援センターの整備に対する助成は平成15 年度から廃止している。		246,102	245,397	5	長寿社会対策課
		7 育児・介 護休業制 度の普及 啓発	事業所に対する 育児・介護休業 法の周知徹底と 制度の定着化促 進		国、県等の関係機関から提供された関係情報 をカウンターに設置し、希望者に配布した。平 成18年9月から、関係情報を一般市民向けに 広く広報するため、ホームページに「ワーキン グたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行っ た。				4	商工労政課
			各種講座等を通 じた制度の普及 啓発		各種講座等を通して、男女共同参画の意識 啓発を行うとともに、育児・介護休業の各制度 の取得促進に向けて、市民に対し、制度の普 及・啓発に努めた。					男女共同・ 3 市民参画室
			制度を活用しや すい職場環境づ くりの働きかけ		国、県等の関係機関から提供された関係情報 をカウンターに設置し、希望者に配布した。平 成18年9月から、関係情報を一般市民向けに 広く広報するため、ホームページに「ワーキン グたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行っ た。				3	商工労政課

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
			男性の育児・介護休業の取得しやすい環境づくりの啓発		各種講座等を通して、男女共同参画の意識啓発を行うとともに、育児・介護休業の各制度の取得促進に向けて、取得しやすい環境づくりの啓発に努めた。					男女共同・ 3 市民参画室
					1 保育所における育児講座、育児相談を通して、育児は男女が協力して行うという認識を啓発した。 (1)地域子育て支援センター事業 ・私立保育所 10か所(うち、合併町5か所) ・その他 2か所(うち、合併町1か所) (2)地域子育て推進事業 ・公立保育所 23か所(うち、合併町2か所) ・私立保育所 19か所 2 次代の高松を担う子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりを進めるため、総合的・体系的に取り組む指針として策定した「高松市こども未来計画」の趣旨を広く市民に啓発するため、各種の機会を捕らえ、家事・育児・介護等は男女が協力して行うという認識の啓発に努めた。また、育児相談の中で、育児等について男性の参加について啓発した。 3 子育てハンドブックの配布および改訂版作成のため内容検討を行った。 ( -1-4再掲)	再	100,902	87,883	4	こども未来課・ 保育課
			事業所に対する家族看護休暇、男性の出産休暇の導入の働きかけ		国、県等の関係機関から提供された関係情報をカウンターに設置し、希望者に配布した。平成18年9月から、関係情報を一般市民向けに広く広報するため、ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行った。					4 商工労政課
			市役所における休業取得のポジティブ・アクションの検討		・平成18年度男性職員育児休業取得者数：なし ・平成18年度介護休暇取得職員数：4人(うち男性職員1人)					3 人事課
		8労働時間短縮に向けた普及啓発	労働時間短縮に向けた普及啓発		過重労働による健康障害防止の観点からの時間外勤務時間の上限設定、週休日・休日の振替・代休の徹底、ノー残業デーや退庁放送の実施およびワークシェアリングによる嘱託職員等の配置などにより、全庁的かつ日常的に時間外勤務の縮減、ひいては労働時間の短縮に取り組んだ。		31,855	30,528	4	人事課
			フレックスタイム制等の普及促進		勤務時間を施設の開館時間などに合わせ、早くしたり遅くしたりすることで、極力時間外勤務が生じないように取り組んだ。					3 人事課
					国、県等の関係機関から提供された関係情報をカウンターに設置し、希望者に配布した。平成18年9月から、関係情報を一般市民向けに広く広報するため、ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行った。					3 商工労政課
			事業所における労働時間短縮の事例紹介		国、県等の関係機関から提供された関係情報をカウンターに設置し、希望者に配布した。平成18年9月から、関係情報を一般市民向けに広く広報するため、ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行った。					3 商工労政課

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課	
						再掲	予算額	決算額			
男女がともにいきいきと働き続ける環境づくり	7多様な働き方を可能にする就業環境づくり	1学校教育における職業意識の形成	男女の固定的職業選択意識を是正する教育内容の充実		学校の教育活動を通じ、計画的、組織的な進路指導が充実するよう、児童生徒が自らの生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、教科、道徳、特別活動の関連を図り実施した。					4 学校教育課	
			ジェンダ -にとらわれず主体的に進路を選択することのできる進路指導		生徒一人一人の個性を尊重し、能力・適正を生かした進路を選択できる指導の一層の充実に図るため、各教科・道徳・特別活動・総合的な学習と進路指導との関連を図り、「勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。」等の職業や労働に関する内容を取り上げて実施した。					4 学校教育課	
			職業体験学習の実施		望ましい勤労観や職業観の育成を図るため、地域や学校、生徒の実態に応じて多様な職場体験学習を設定して実施した。						4 学校教育課
			社会人教師による職業教育の実施		自立のための望ましい勤労観や職業観の育成を図るため、学校の実態に応じて地域の人材や保護者、卒業生等による講演会や職業体験にかかわる学習を実施した。						4 学校教育課
			保護者に対する職業観の多様化の啓発		学校の実態に合わせて地域の教育力を生かす進路指導を行うなど、保護者等の参加による進路学習を実施した。						3 学校教育課
			2家庭・社会における職業意識の形成	子育てに関する講座などを通じた家庭での職業意識形成の啓発	保育所における育児講座、育児相談を通して、育児は男女が協力して行い、仕事と両立しなければならないという認識を啓発した。 (1)地域子育て支援センター事業 ・私立保育所 10か所(うち、合併町5か所) ・その他 2か所(うち、合併町1か所) (2)地域子育て推進事業 ・公立保育所 23か所(うち、合併町2か所) ・私立保育所 19か所 ( -6-1再掲)		再	96,344	84,534		
		子を持つ親向けに実施している家庭教育学級・家庭教育セミナーを開設したほか、高松市家庭教育推進協議会事業として、父親のための家庭教育出前講座を実施した。また、セミナーに参加できない親向けに、ケーブルテレビの高松市チャンネルで、テレビ家庭教育セミナーを放送した。 ・家庭教育学級開設箇所内訳 小学校 48校(うち、合併町10校) 幼稚園 29園(うち、合併町11園) 市民グループ 8学級 計 85学級 ・家庭教育セミナー 3コース 開催回数 各コース 7回 (子どもの年齢別に2コースと親子向けに1コース開催) ・父親のための家庭教育出前講座 9回 (高松市家庭教育推進協議会事業) ・テレビ家庭教育セミナー 放送番組数 3本			3,171	2,766			4 社会教育課		

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
			家庭教育手帳や家庭教育ノート、家庭教育情報カードの配布		家庭教育の手引書として文部科学省が作成している「家庭教育手帳」「家庭教育ノート」を親に配布した。 ・家庭教育手帳 4000部(母子健康手帳交付時)					5 社会教育課
			情報誌等による職業を持つことについての啓発		男女共同参画センター登録団体ネットワーク発行の「びびふあい」(年2回発行)や「参画センターだより」(毎月発行)等において、啓発に努めた。 ・「びびふあい」(年2回発行) 18年9月 4,000部 19年3月 4,000部 ・「参画センターだより」(毎月1日発行) 500~700部 ・「広報たかまつ」(特集記事年2回、関連記事随時) ・「メルマガもっとたかまつ」(毎月第1・3金曜日)					男女共同・ 4 市民参画室
			自営業で働く女性の職業意識の啓発		国、県等の関係機関から提供された関係情報をカウンターに設置し、希望者に配布した。平成18年9月から、関係情報を一般市民向けに広く広報するため、ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行った。					3 商工労政課
			若い世代等を対象とした職業意識の啓発		高校生を対象に、男女平等意識の高揚と身近な性差別の気付きとともに、体験学習を通じて、学校・家庭生活など様々なところで一人一人が男女共同参画を広められるきっかけとなる男女共同参画学習等を実施した。また、インターンシップを受け入れた。 ・男女共同参画学習 1回 参加者数 18人 ・インターンシップの受入れ(香川大学学生)等					男女共同・ 4 市民参画室
		3 職業能力の開発促進	関係機関におけるセミナー等の実施促進		(財)21世紀職業財団香川事務所との共催で、育児や介護で離職後の再就職のためのRe・Beワークセミナーやパートタイム労働ガイダンスを開催した。 ・Re・Beワークセミナー 開催回数 1回 参加者数 64人 ・パートタイム労働ガイダンス 開催回数 5回 参加者数 59人					男女共同・ 4 市民参画室
			女性のリーダーシップを養成するセミナーの開催		男女共同参画社会形成のために重要課題について、理解と認識を深める「自分力アップ・参画セミナー」や男女共同参画エンパワメントセミナー修了者が地域で講師として活動できるようにするため「男女共同参画講師チャレンジ講座」等を開催し、主体的に職場や地域社会で活動できる人材の育成を図った。 自分力アップ・参画セミナー 開催回数 6回 参加者数 424人 男女共同参画講師チャレンジ講座 開催回数 4回 参加者数 97人 託児サポーター養成講座 開催回数 6回 参加者数 133人					男女共同・ 4 市民参画室
			再就職支援のための技術講習等の実施促進		(財)21世紀職業財団香川事務所との共催で、育児や介護で離職後の再就職のためのRe・Beワークセミナーを開催した。 ・Re・Beワークセミナー 開催回数 1回 参加者数 64人					男女共同・ 4 市民参画室

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
			パートタイム労働者に対する能力開発の促進		(財)21世紀職業財団香川事務所との共催で、パートタイム労働ガイダンスを開催した。 ・パートタイム労働ガイダンス 開催回数 5回 参加者数 59人					男女共同・ 4 市民参画室
			高度情報通信の進展に対応したパソコン等の技術講習等の実施		ITフォローアップ講座については、国の緊急雇用創出基金事業を活用して実施していたが、同基金事業が終了したため、地区公民館等講座のひとつとして開催した。 1 実施期間 平成18年5月～平成19年3月 2 実施場所 二番丁公民館ほか43館 3 延受講者数 4,292人					5 生涯学習センター
			事業所における女性の能力開発の事例紹介		「たかまつ男女共同参画白書」(平成16年度作成)等を活用して、男女共同参画や女性の能力開発促進を啓発した。					男女共同・ 4 市民参画室
			事業所の教育・訓練推進の啓発		国、県等の関係機関から提供された関係情報をカウンターに設置し、希望者に配布した。平成18年9月から、関係情報を一般市民向けに広く広報するため、ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行った。					3 商工労政課
		4女性の起業やパートタイム労働などの多様な働き方への支援	起業のためのセミナーの開催促進		国、県等の関係機関から提供された関係情報をカウンターに設置し、希望者に配布した。平成18年9月から、関係情報を一般市民向けに広く広報するため、ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行った。					4 商工労政課
			関係機関などによる女性起業家に対する支援		国、県等の関係機関から提供された関係情報をカウンターに設置し、希望者に配布した。平成18年9月から、関係情報を一般市民向けに広く広報するため、ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行った。					3 商工労政課
			パートタイム労働法の周知		国、県等の関係機関から提供された関係情報をカウンターに設置し、希望者に配布した。平成18年9月から、関係情報を一般市民向けに広く広報するため、ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行った。					4 商工労政課
			パートタイム労働などの就業条件の向上についての啓発		国、県等の関係機関から提供された関係情報をカウンターに設置し、希望者に配布した。平成18年9月から、関係情報を一般市民向けに広く広報するため、ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行った。					4 商工労政課

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
			パートタイム労働などの多様化する労働形態における労働実態の調査		たかまつ男女共同参画プラン(改訂版)策定に当たって、市民意識調査、事業所実態調査等を実施するとともに、市民向けリーフレットや事業所向け冊子を活用して、職場における男女平等を促進した。 ・市民意識調査 回答数 市民 1,285人 事業所 736事業所 市民団体 104団体				4	男女共同・市民参画室
		5女性の就業に関する相談や情報提供	就業をめざす女性の職業相談の実施		男女共同参画センターの相談事業の中で、労働相談を行い、パートタイム労働など就業環境における様々な悩みについて専門的な相談を行った。 ・パートタイム労働ガイダンス 5回 59人 ・労働相談 11件				4	男女共同・市民参画室
			パートタイム労働など働く人のための相談の実施		男女共同参画センター相談事業の中で、働く人の相談を行い、パートタイム労働など就業環境における様々な悩みについて専門的な相談を行った。 ・パートタイム労働ガイダンス 5回 59人 ・労働相談 11件				4	男女共同・市民参画室
			起業に関する情報提供		起業家支援セミナー開催の情報を収集し、市民に提供した。				4	男女共同・市民参画室
					国、県等の関係機関から提供された関係情報をカウンターに設置し、希望者に配布した。平成18年9月から、関係情報を一般市民向けに広く広報するため、ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行った。				3	商工労政課
			就職・再就職などに関する情報提供		国、県等の関係機関から提供された関係情報を「たかまつ労政だより」に掲載し、市内事業所に送付するとともに、高松公共職業安定所、高松商工会議所等と合同で、合同求人説明会「就職フェア」を開催した。平成18年9月から、関係情報を一般市民向けに広く広報するため、ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行った。				3	商工労政課
			就業・労働に関する資料の収集および提供		21世紀職業財団を始めとして、各関係機関から就業・労働に関する資料を収集し、市民に提供した。また、再就職チャレンジセミナーの開催や各種講座情報を提供した。 ・再就職チャレンジセミナー 開催回数 4回 参加者数 45人				4	男女共同・市民参画室

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
男女がともにいきいきと働き続ける環境づくり	8男女が対等なパートナーとして働く職場づくり	1男女の雇用機会均等についての啓発	事業所に対する男女雇用機会均等法の周知・啓発資料の作成・配布		国、県等の関係機関から提供された関係情報をカウンターに設置し、希望者に配布した。平成18年9月から、関係情報を一般市民向けに広く広報するため、ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行った。				4	商工労政課
			事業所に対する出前セミナーの実施		企業・学校・地域団体などに出向いて、講演会等を開催し、女性問題の解決(セクシュアルハラスメントを含む。)について、共に考える機会を提供した。 ・出前セミナー 開催回数 6回 参加者数 424人				4	男女共同・市民参画室
			男女が対等なパートナーとして働く意識を育てる講演会・セミナー等の開催		男女が対等なパートナーとして働く意識を育てるとともに、女性問題の解決や女性と男性の個性・能力の活用と人材育成の講座などを開催した。 ・自分力アップ・参画セミナー 開催回数 6回 参加者数 424人 ・出前セミナー 開催回数 8回 参加者数 312人等				4	男女共同・市民参画室
			女子学生の就職問題に関する調査研究		未実施				1	男女共同・市民参画室
		2職場における男女平等の促進	職場における男女平等についての広報誌・情報誌等による啓発の推進		国、県等の関係機関から提供された関係情報をカウンターに設置し、希望者に配布した。平成18年9月から、関係情報を一般市民向けに広く広報するため、ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行った。				4	商工労政課
			女性労働に関する実態調査の実施		たかまつ男女共同参画プラン(改訂版)策定に当たって、市民意識調査、事業所実態調査等を実施するとともに、市民向けリーフレットや事業所向け冊子を活用して、職場における男女平等を促進した。 ・市民意識調査 回答数 市民 1,285人 事業所 736事業所 市民団体 104団体				4	男女共同・市民参画室
			事業所における女性の管理職登用などのポジティブ・アクションについての先進的取組みの紹介		たかまつ男女共同参画白書や各種啓発資料等を活用し、男女共同参画社会実現に向けての女性の参画を推進するとともに、男女共同参画における企業等の先進事例や女性登用についての先進的な取組みをセミナー等で紹介した。 ・出前セミナー 開催回数 6回 参加者数 424人				4	男女共同・市民参画室
					国、県等の関係機関から提供された関係情報をカウンターに設置し、希望者に配布した。平成18年9月から、関係情報を一般市民向けに広く広報するため、ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行った。				4	商工労政課

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
			女性の継続雇用や登用のモデルプランとなる取組みの紹介		たかまつ男女共同参画白書や各種啓発資料等を活用し、男女共同参画社会実現に向けての女性の参画を推進するとともに、男女共同参画における企業等の先進事例や女性登用についての先進的な取組みをセミナー等で紹介した。 ・出前セミナー 開催回数 6回 参加者数 424人				4	男女共同・市民参画室
			女性労働に関する情報等の収集・提供		男女共同参画センターにおいて、各種団体の発行する労働に関する情報誌等を収集し、センターの情報・交流室において市民に提供した。 平成19年3月31日現在 収集数 図書 2,185冊、ビデオ 103本、雑誌7種 貸出数 図書 239冊、ビデオ 21本				4	男女共同・市民参画室
			事業所内における相談窓口設置の働きかけ		国、県等の関係機関から提供された関係情報をカウンターに設置し、希望者に配布した。平成18年9月から、関係情報を一般市民向けに広く広報するため、ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行った。				3	商工労政課
		3セクシャル・ハラスメント防止の啓発	セクシャルハラスメント防止対策の事例集など、事業所向けの周知・啓発資料の作成・配布		国、県等の関係機関から提供された関係情報をカウンターに設置し、希望者に配布した。平成18年9月から、関係情報を一般市民向けに広く広報するため、ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行った。				4	商工労政課
			関係機関の連携による事業所や公的機関、管理職等を対象としたセミナー等の開催		企業・学校・地域団体などに出向いて、講演会等を開催するなど、女性問題の解決(セクシャル・ハラスメントを含む。)について、共に考える機会を提供した。 ・出前セミナー 開催回数 8回 参加者数 312人				4	男女共同・市民参画室
			事業所や公的機関等に対する出前セミナーの実施		国、県等の関係機関から提供されたセミナー実施等の関係情報について、「たかまつ労政だより」に随時掲載し、市内事業所に送付するとともに、チラシ等については、カウンターに備置き、希望者に配布した。また、ホームページに雇用・労働情報を集約した「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係機関のセミナー等実施の情報を、広く一般市民に広報した。				3	商工労政課
			働く女性の妊娠・出産等の健康管理に関する法律や指針などの事業所に対する周知・啓発		官公庁・学校・地域団体などに出向いて、講演会等を開催し、女性問題の解決(セクシャル・ハラスメントを含む。)について、共に考える機会を提供した。 ・出前セミナー 開催回数 8回 参加者数 312人				4	男女共同・市民参画室
		4働く女性の健康管理についての啓発	働く女性の妊娠・出産等の健康管理に関する法律や指針などの事業所に対する周知・啓発		国、県等の関係機関から提供された関係情報をカウンターに設置し、希望者に配布した。平成18年9月から、関係情報を一般市民向けに広く広報するため、ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行った。				4	商工労政課

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
			「母性健康管理指導事項連絡カード」などの制度の普及・啓発		母子健康手帳に記載されている女性・男性のための出産、育児に関する制度を妊娠届出時に働く女性に説明し、情報の普及・啓発に努めた。					5 保健センター
	5 地方公共団体としての取り組み		女性職員の能力・適性を十分勘案した適材適所による登用		能力の実証に基づき、適材適所による女性職員の登用を進めるとともに、人材の確保も図りながら、女性職員の職務の拡大に努めた。					4 人事課
			男女共同参画についての職員の意識改革		セクシュアル・ハラスメント防止に関する職員研修の実施 ・H18年度新規採用職員第一部研修の中で実施...4/11 5人 ・H18年度係長級職員研修の中で実施...6/30 43人 H18年度新規採用職員実務研修の実施 ・給食調理・清掃作業実務体験...5/11・12,5/18・19 5人 市町村アカデミーへの派遣研修の実施(-1-6再掲)	再	239	230		4 人事課
			女性職員の職域の拡大		平成17年度での消防職員募集要項の改正により、女性4名の受験申請があった。					3 消防局 総務課
			男性職員の少ない職域への男性職員の配置		平成18年度に男性保育士2名を採用した。					3 人事課
			女性職員の能力開発、キャリアアップの推進		市町村アカデミーへの派遣研修の実施 「パワーアップ女性管理職」障害福祉課 女性職員1人 7/12~7/14 「はばたけ女性リーダー」保育課 女性職員1人 11/7~11/14		155	131		4 人事課
			女性職員の管理職への登用の推進		H19.3.31現在 全管理職員中女性管理職員の割合 8.9% H19.4.1現在 全管理職員中女性管理職員の割合 9.0%					3 人事課
			市職員のセクシュアル・ハラスメントに関する研修の実施、職員向けの資料作成・配布		セクシュアル・ハラスメント防止に関する職員研修の実施 ・H18年度新規採用職員第一部研修の中で実施...4/11 5人 ・H18年度係長級職員研修の中で実施...6/30 43人 H18年度新規採用職員実務研修の実施 ・給食調理・清掃作業実務体験...5/11・12,5/18・19 5人		21	38		4 人事課
			市職員のセクシュアル・ハラスメント相談窓口の設置		引き続き男女共同参画センターに第1・3水曜日にセクハラ相談窓口を設置するとともに、人事課にも相談窓口を設置し、セクハラ相談・防止体制を整え、適切な対応が図られるよう努めた。					4 人事課

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
男女がともに自立し、豊かで安心できる生活づくり	9男女がともに子育て、介護を担う家庭づくり	1家庭生活への男女共同参画の啓発	学校教育における家庭科の男女共修などを通じた家庭生活における男女共同参画についての学習の充実		家庭における家族の役割や仕事について共通に学習したことを家庭生活の中に生かし、実践的行動と結び付ける指導を実施した。				4	学校教育課
			中・高校生を対象とした保育体験事業の実施		幼児への理解と関心を高め、適切にかかわる態度を育てる指導を、学校や地域の実態に応じ、幼稚園や保育所との連携を図りながら実施した。 保育体験事業 公立保育所 30か所(うち、合併町13か所)				3	学校教育課・保育課
			家庭生活への男女共同参画についての広報紙等による啓発	再	214,309	208,941	4	広聴広報課		
			高松市男女共同参画センター登録団体ネットワーク発行の機関誌「びびふぁい」(年2回発行)および「参画センターだより」(毎月発行)等で特集し、啓発に努めた。 ・「びびふぁい」(年2回発行) 18年9月 4,000部 19年3月 4,000部 ・「参画センターだより」(毎月1日発行) 500~700部 ・「広報たかまつ」(特集記事年2回、関連記事随時) ・「メルマガもっとたかまつ」(毎月第1・3金曜日)					4	男女共同・市民参画室	
			家事に対する評価の啓発		啓発冊子「男女がともに輝く未来へー家庭における男女の意識調査」等の活用や男女共同参画週間のパネル展の実施等で啓発に努めた。 男女共同参画啓発事業 ・パネル展示 6/20~24 市役所1階市民ホール ・啓発リーフレット(たかまつ男女共同参画プラン(ダイジェスト版))増刷・発行、啓発グッズ配布等				4	男女共同・市民参画室
			男性を対象とした家事などの学習機会の提供		女性問題解決に向け、パートナーである男性の意識改革を進めるための講座を開催した。 自分力アップ・参画セミナー 開催回数 6回 参加者数 424人(うち、男性65人)等				3	男女共同・市民参画室
			男性の家庭生活参画モデルの紹介		たかまつ男女共同参画白書や男女共同参画学習用紙芝居等を活用し、男性の家庭生活参画モデルの紹介するとともに、コミュニティセンター、公民館、職場等に向いて啓発を行った。				4	男女共同・市民参画室
			在宅で受講できるセミナーの検討		未検討				1	男女共同・市民参画室

基本 目標	主 要 プラン	施策の基 本的方向	具体的施策・ 事業	重 点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度 評価	推進担当課	
						再 掲	予算額	決算額			
		2子育て に関する 相談,学 習機会等 の充実	「新高松市健や か子育て支援計 画」に基づく総合 的な子育て支援 の推進		1 「次代の高松を担う子どもが健やかに生ま れ育つ環境づくりを進めるため、総合的・体系 的に取り組む指針として策定した「高松市こ ども未来計画」の趣旨を広く市民に啓発する ため、計画の概要版を作成し配布した。 2 子育てハンドブックを配布するとともに、改 訂版作成のため、内容を検討した。			150	59	4	こども未来課・ 保育課
					妊娠期における絵本の読み聞かせが子育て に効果的であることの講習を進める中、赤 ちゃんとその保護者等に絵本を贈呈し、その 利用方法と効用の説明を行うことにより、保 護者等の楽しい子育て参加を推進するとと もに、読書への動機付けを図り、赤ちゃんと保 護者等が図書館を意識し、利用し続ける生涯 学習の素地を育ませる子育て支援事業として 実施した。 絵本バック渡し数3,686(4か月児健康相談 対象者の89.1%)			3,955	3,955	5	中央図書館
		地域子育て支援 センター,地域 子育て推進事業 などによる子 育て情報の提供, 育児相談の充実			1 保育所における育児講座,育児相談,子 育てサークルの支援等を通して,子育て情報 の提供,育児相談の充実を図った。 (1)地域子育て支援センター事業 ・私立保育所 10か所(うち,合併町5か所) ・その他 2か所(うち,合併町1か所) (2)地域子育て推進事業 ・公立保育所 23か所(うち,合併町2か所) ・私立保育所 19か所 2 次代の高松を担う子どもが健やかに生ま れ育つ環境づくりを進めるため総合的・体系 的に取り組む指針として策定した「高松市こ ども未来計画」の趣旨を広く市民に啓発するた め,各種の機会を捕らえ,子育て情報の提供 に努めた。また,市民相談コーナーの育児相 談員による育児相談を実施することによって, 相談事業の充実に努めた。 3 子育てハンドブックの配布および改訂版作 成のための内容検討を行った。 ( -1-4再掲)	再	100,902	87,883	4	こども未来課・ 保育課	
		育児セミナーな どの子育てに関 する学習機会の 充実			保育所における育児講座,育児相談を通し て,子育てに関する学習機会の充実を図っ た。 (1)地域子育て支援センター事業 ・私立保育所 10か所(うち,合併町5か所) ・その他 2か所(うち,合併町1か所) (2)地域子育て推進事業 ・公立保育所 23か所(うち,合併町2か所) ・私立保育所 19か所 ( -6-1再掲)	再	96,344	84,534	4	こども未来課・ 保育課	
					子を持つ親向けに家庭教育学級・家庭教育セ ミナーを開設したほか,高松市家庭教育推進 協議会事業として,父親のための家庭教育出 前講座・就学時健診を活用した子育て講座等 子育てに関する講座を実施した。また,セミ ナーに参加できない親向けに,ケーブルテレ ビの高松市チャンネルで,テレビ家庭教育セ ミナーを放送した。 ・家庭教育学級開設箇所内訳 小学校 48校(うち,合併町10校) 幼稚園 29園(うち,合併町11園) 市民グループ 8学級 計 85学級 ・家庭教育セミナー 3コース 開催回数 各コース 7回 ( -7-2再掲)	再	3,171	2,766	4	社会教育課	

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
			高齢者を対象とした子(孫)育てに関する学習機会の充実		高齢者の自主的な学習活動の場として高齢者教室を開設した。 ・高齢者教室 51教室(うち、合併町10教室) 開設場所 地区公民館, コミュニティセンター (-4-1再掲)	再	2,543	2,352	5	社会教育課
			子育てサークルなどの自主的な活動等の育成, 支援		子育てサークルに対し, 会議室や託児室を貸し出し, 活動を支援するとともに, 託児のつどい等を開催し, 講演会や託児者相互の交流を図った。また, センターの情報・交流室やロビーに会報誌などを展示し, サークル同士の交流会を行った。 ・託児サポーター養成講座 開催回数 6回 参加者数 133人 ・託児タイム 開催回数 106回 子ども 537人 ・託児のつどい 開催回数 1回 参加者数 81人 ・託児協力者のつどい 開催回数 1回 託児協力者 19人				4	男女共同・市民参画室
					保育所において地域の子育てサークルの育成・支援を図るため, 下記の事業を行った。 (1)地域子育て支援センター事業 ・私立保育所 10か所(うち, 合併町5か所) ・その他 2か所(うち, 合併町1か所) (2)地域子育て推進事業 ・公立保育所 23か所(うち, 合併町2か所) ・私立保育所 19か所 (-6-1再掲)	再	96,344	84,534	4	こども未来課・保育課
					児童の健全な育成を図るため, 母親などの地域住民の積極的な参加による, 子育てなどに関する地域組織活動(親子および世代間交流, 文化活動, 児童の事故防止等活動など)を実施する団体に対し助成した。 助成団体 14団体		5,292	2,646	4	こども未来課
			男性の保育体験機会の提供		男女の別なく, 子育ての方法や喜びを体得できるよう, 公立保育所において, 中学生・高校生を対象に保育体験事業(一日保育士さん事業)を実施し, 男性の保育体験機会の提供を行った。 保育体験事業(一日保育士さん事業)実施保育所 ・公立保育所 30か所(うち, 合併町13か所)		69	6	3	保育課
			出産を控えた両親学級の実施		保健センターにおいて, 妊婦, その夫などを対象にマタニティ教室, 日曜子育てひろば(はじめてのパパママ育児コース)を実施した。 ・マタニティ教室 33回 316人 ・日曜子育てひろば 9回 257人		124	99	5	保健センター
			こども相談, 赤ちゃん学級などの母子保健の充実		保健センターにおいて, はぐみ学級, すくすく学級を開催した ・はぐみ学級 12回 222人 ・すくすく学級 12回 271人		134	123	5	保健センター

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)		達成度評価	推進担当課	
						再掲	予算額			決算額
			高齢者の能力を活用した子育て支援活動の推進		公立保育所において、地域活動事業(世代間交流)を通じて、高齢者とのふれあいの中で子育て支援活動の推進を図った。 地域活動事業(世代間交流)実施保育所・公立保育所 13か所 (うち、合併町11か所) 私立保育所においても、保育所地域活動事業の中の世代間交流等事業を通じて、高齢者とのふれあいの中で子育て支援活動の推進を図った。		6,242	5,883	3	保育課
			児童虐待の早期発見体制、相談等の充実		虐待を受けている児童をはじめ非行児童など、要保護児童の早期発見や早期対応を図るため、児童家庭相談を充実させるとともに、高松市児童対策協議会において、情報交換や支援の内容に関して協議を行い、要保護児童の適切な保護を図った。 家庭相談員1人 相談日時 月曜日～金曜日 9時～16時 相談件数 1,302件(うち、虐待相談件数573件) 児童虐待受理件数 95件		2,719	2,543	5	こども未来課
					本来児童の養育に支援が必要でありながら、様々な原因で養育が困難になっている家庭に対して、育児支援員が訪問による育児等の支援を実施し、家庭での安定した児童の養育と児童虐待防止を図った。 対象家庭 27世帯 育児相談・指導 277回 家事支援 24回 計301回		3,383	2,626	4	こども未来課
					訪問指導、健康相談、健康診査等の各種母子保健事業の実施に当たり、児童虐待の予防や早期発見の視点で対応した。 また、育児不安や育児困難感を感じている母親等を対象に、育児支援事業「ひまわり」(心理相談員等による個別相談や親子遊びやグループミーティング)を実施し、育児不安の軽減や虐待予防に努めた。 ・育児支援事業「ひまわり」の実施 個別相談 42回 88人(1回 4人) 集団指導 41回延382人(1クール 4か月コース) 定例的にケース会議を開催し、関係機関と連携を図りながら、適切な時期に適切な支援を行うことにより、虐待予防に努めた。 ・母子事例検討会 43回 虐待 34回 虐待疑い 9回(育児不安を含む。)		1,062	898	5	保健センター
		3子育てをしている人の活動しやすい環境の整備	託児付きのイベント・セミナー等の開催		男女共同参画センター主催のイベント・セミナーについては、すべて託児付きとし、子育てをしている人が参加しやすい学習の機会を提供した。 託児付き主催講座等 開催回数 22回 子ども78人 託児者 57人					男女共同・ 4 市民参画室
			託児ボランティアなどジェンダー・フリーにかかわるボランティア活動の促進		託児のつどい、託児協力者のつどい等を開催して託児ボランティアの資質を高め、その活動を支援した。 ・託児サポーター養成講座 開催回数 6回 参加者数 133人 ・託児のつどい 開催回数 1回 参加者数 81人 ・託児協力者のつどい 開催回数 1回 託児協力者 19人					男女共同・ 4 市民参画室

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
					託児ボランティアなどジェンダー・フリーにかかわるボランティア活動の促進を図った。 ( -4-3再掲)					
						再	799	502	4	生涯学習センター
		4 高齢者の介護に関する相談, 学習機会の充実	介護に関する相談体制の充実		市政出前ふれあいトークの実施(144回) 相談件数 192件					4 介護保険課
					市内28か所(うち, 合併町6か所)に設置した老人介護支援センターにおいて, 24時間体制で高齢者やその家族からの相談に応じる体制をとった。					
							68,941	64,439	5	長寿社会対策課
			家族介護教室の実施		市内28か所(うち, 合併町6か所)の老人介護支援センターにおいて, 高齢者を介護する家族を対象に, 家族介護教室を月1回開催した。 実施回数 326回 延べ参加者数 8,119人					
							10,080	8,416	5	長寿社会対策課
			男性が参加しやすい介護教室の開催		市内28か所(うち, 合併町6か所)の老人介護支援センターにおいて, 高齢者を介護する家族を対象に, 家族介護教室を月1回開催した。 ( -9-4再掲)					
						再	10,080	8,416	5	長寿社会対策課

基本 目標	主 要 プラン	施策の基 本的方向	具体的施策・ 事業	重 点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度 評価	推進担当課	
						再 掲	予算額	決算額			
男女が ともに自 立し、豊 かで安心 できる生 活づくり	10高齢 者等の生 活の安定 と自立の 支援	1高齢者 の就業・ 学習機会 の充実	シルバー人材セン ター事業の促進		シルバー人材センターにおいて、働く意欲のある高 齢者に就業機会の増大を図り社会参加と生き がいの得る場を提供した。		28,647	28,647	5	長寿社会対策課	
			公的年金制度の 周知・加入促進		外国人のみ20歳到達予定者の情報を社会 保険事務所へ提供し、適用促進を助けるとと もに、パンフレットの配置や「広報たかまつ」、 「CATV」等を利用して国民年金の周知・加入 促進に努めた。 (1)適用促進(社会保険事務所) 外国人のみ20歳到達予定者を毎月情報提 供 (2)啓発・加入促進 「広報たかまつ」 毎月 ・各種届出関係周知等 ・保険料の免除、収納関係等 CATV 平成18年4月1日～15日 ・「20歳になったら国民年金」 パンフレットの配置 ・「国民年金のあらし」等		22	22	4	保険年金課	
			老人大学の学習 機会の充実		高松市老人クラブ連合会が生きがいくりと 社会参加を目的として老人大学を開講した。 平成18年5月～19年2月 定員165人 修了生154人		36,106	35,491	4	長寿社会対策課	
					高齢者の自主的な学習活動の場として高齢 者教室を開設した。 ・高齢者教室 51教室(うち、合併町10教室) 開設場所 地区公民館、コミュニティー ( -4-1再掲)	再	2,543	2,352	5	社会教育課	
			高齢者後見制度 の周知		身寄りのない認知症高齢者など、親族による 法定後見の開始の審判が期待できない者 についての法定後見制度の利用について周知 を図った。		472	0	5	長寿社会対策課	
			女性(高齢者)の 財産管理に関す る学習機会の提 供		女性(高齢者)の財産管理に関する講座など を開催した。 ・自分力アップ・参画セミナー 開催回数 6回 参加者数 424人						男女共同・ 4 市民参画室
			2高齢者 の在宅生 活の支援	老人介護支援セ ンターなどの整備	社会福祉法人等が整備する施設に対し、整 備事業費の一部を助成した。ただし、老人介 護支援センターの整備に対する助成は平成15 年度から廃止している。 ( -6-6再掲)	再	246,102	245,397	5	長寿社会対策課	

基本 目標	主 要 プラン	施策の基 本的方向	具体的施策・ 事業	重 点	事業状況および成果	事業費(千円)		達成度 評価	推進担当課	
						再 掲	予算額			決算額
			訪問介護など福祉サービスの充実		居宅サービス(地域密着型サービスを含む) 利用者数(年間平均)11,695人 減額認定証交付人数(低所得者)69人 減額認定証交付人数(社会福祉法人)253人 在宅・施設の合計 (-6-6再掲)	再	11,952,861	12,890,713	4	介護保険課
					在宅の高齢者に対し、生きがいデイサービス事業など適切な福祉サービスを提供しており、特にひとり暮らし高齢者への支援として緊急通報装置の貸与や日常生活用具の給付、高齢者を地域で支え合うまちづくり推進事業などの事業を実施した。 (-6-6再掲)	再	627,510	517,838	5	長寿社会対策課
			ひとり暮らし高齢者等の支援		在宅の高齢者に対し、生きがいデイサービス事業など適切な福祉サービスを提供しており、特にひとり暮らし高齢者への支援として緊急通報装置の貸与や日常生活用具の給付、高齢者を地域で支え合うまちづくり推進事業などの事業を実施した。 (-6-6再掲)	再	627,510	517,838	5	長寿社会対策課
			シルバーハウジングの整備		市内4か所のシルバーハウジングに居住する高齢者に対し、日常生活の相談・指導、安否確認等を行うなどのサービスを提供した。		9,684	9,684	5	長寿社会対策課
					年4回の空家募集用住戸について、段差の解消、手摺の設置などの住戸内のバリアフリー化のほか、中層耐火住宅の共用階段に手摺の計画的設置。 住戸内のバリアフリー化 80戸 共用階段の手摺 39階段 シルバーハウジングについては予定なし 参考 H6年度 27戸 H10年度 22戸 H13年度 12戸		43,422	52,258	4	住宅課
		3高齢者等に対する相談・情報提供の充実	高齢者に対する相談・情報提供の充実		高齢者在宅福祉サービスを周知するためのリーフレットを作成し配布することにより、市民の意識啓発や福祉意識の高揚を図った。市内28か所に設置した老人介護支援センターにおいて、24時間体制で高齢者やその家族からの相談に応じる体制をとった。		69,046	64,514	5	長寿社会対策課
			介護に関する相談、情報提供の充実		パンフレットの作成・配布 市政出前ふれあいトークの実施(114回) 広報「たかまつ」に随時掲載(4月2回,6月,7月,8月,9月,10月,1月,2月の9回) インターネットの活用,HPの随時更新 (-6-6再掲)	再	1,587	682	4	介護保険課
			ひとり親家庭に対する相談、情報提供の充実		ひとり親家庭等の生活の安定と自立を図るため、母子自立支援員等が、ひとり親家庭のかかえるさまざまな問題や悩みごとの相談に応じるとともに、各種助成制度の情報提供に努めた。 母子自立支援員2人 相談日時 月曜日～金曜日 9時～16時 相談件数 2,133件 (-6-5再掲)	再	4,281	4,243	4	こども未来課

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
			障害者やその家族に対する相談、情報提供の充実		社会福祉士等の資格を有し、障害者の相談・援助の経験者を常勤で配置して、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用、ピアカウンセリング等総合的な相談援助等を行い、在宅の障害者やその家族の地域における生活を支援や、在宅障害者の自立と社会参加の促進を図った。 障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言、サービスの利用支援等を行うため、高松障害保健福祉圏(1市7町、合併後は1市2町)で、事業所に委託して、相談支援事業を実施した。(身体2か所、知的2か所、精神7か所、計11か所)		52,842	49,591	4	障害福祉課
		4ともに生きるまちづくりの推進	ユニバーサルデザインの視点に立ったひとにやさしいまちづくりの推進		寝たきり等の高齢者が自宅で暮らしやすい生活が送れるよう住宅を改造する場合その費用の一部を助成した。		60,820	26,085	5	長寿社会対策課

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課	
						再掲	予算額	決算額			
男女の人権が尊重される社会づくり	11人権尊重の意識づくり	1男女の人権尊重の意識啓発	人権週間、男女共同参画週間における啓発		12月4日～10日の人権週間に、次のとおり啓発活動を実施し、男女の人権尊重をはじめ、広く人権を尊重する市民意識の普及・高揚を図った。 (1) 平和と人権を守る市民のつどい (2) 街頭啓発 (3) 人権啓発作品展 (12月4日～8日、市役所一階市民ホール) (12月1日～20日、コミュニティセンターおよび地区公民館) (4) 広報たかまつ12月1日号、ケーブルテレビ(ホットライン高松・12月1日～15日)、ホームページによる啓発 (5) 啓発資料(リーフレット等)作成		872	1,552	4	人権啓発課	
					男女共同参画啓発事業 6/1の「人権擁護委員の日」および6/23から6/29までの「男女共同参画週間」に併せた啓発事業を実施した。 実施期間 6/23～6/30 参加人数 2,468人 ・女性弁護士の啓発講座、相談 6/29 ・子どもへの暴力防止活動に取り組む団体のワークショップ 6/25 ・弁護士を囲む座談会 6/26 ・女性のための1日電話相談 6/23 ・パネル展示 6/23～30 市役所1階市民ホール ・啓発リーフレット、啓発グッズ配布、ビデオ上映					男女共同・4市民参画室	
					市役所1階市民ホールと40コミュニティセンターおよび9公民館で人権啓発作品展を実施したことにより、広く市民の人権意識の高揚・啓発に効果があった。						
						310	126	4	人権教育課		
					セミナー等における男女の人権に関する啓発	男女平等意識を育むことができるよう、ジェンダーに敏感な視点を取り入れた講座・研修等の実施により、互いの人権を尊重する意識の高揚を図った。 各種講座、セミナー 男女共同参画啓発事業関係講座 ・女性弁護士の啓発講座・相談(第1部「女性への暴力～DVとそれが子どもに与える影響～」、第2部「相談～具体的事例を受けて～」) 6/29 ・子どもへの暴力防止活動に取り組む団体のワークショップ 6/25 ・法律講座「高齢者の尊厳を守るために～高齢者虐待防止法ってなに?～」 12/14					男女共同・4市民参画室
						婦人会や女性グループの自主的な学習活動の場として、女性教室を開設した。 ・地区女性教室 56教室 (うち、合併町17教室) 開設場所 地区公民館、コミュニティセンター ・市民グループ女性教室 8教室 開設場所 男女共同参画センターほか(-4-2再掲)	再	2,318	2,241	5	社会教育課
	女性の人権尊重や男女平等意識の啓発として、広報・啓発資料を作成し、啓発を行う。 ・相談用リーフレット 1,500枚 ・DV折りたたみリーフレット 1,000枚 ・女性相談カード 6,000枚 ・デートDVリーフレット 3,000枚 ・たかまつ男女共同参画プラン(改訂版)発行(プラン冊子400部、ダイジェスト版2,500部)					男女共同・4市民参画室					

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
			人権尊重の視点からの性教育の推進		学級活動や保健学習等を通して、生命尊重・人権尊重の視点から、学校や児童生徒の実態に応じた性教育を推進した。					4 学校教育課
			人権相談の実施		広く市民に人権思想の普及・高揚を図るための特設人権相談所を開設した。 毎週月曜日午前10時から午後3時まで 市民相談コーナー		243	228		4 広聴広報課
					男女共同参画センターにおいて人権擁護委員による人権相談を行い、女性であることによる差別や不当な処遇に対する相談に応じた。 人権相談(人権擁護委員) 毎月1回 第4金曜日 13:00～16:00					男女共同・ 4 市民参画室
			出前セミナーの実施		市政のしくみや現在取り組んでいる事業・施策・今後の検討課題について管理職員等が地域へ出向いて説明し、理解と協力を得るとともに、市民から出された意見等を市政に反映させるため、市政出前ふれあいトークを実施している。その117テーマの中の1つで男女共同参画社会を目指してを挙げた。		0	0		4 広聴広報課
					男女の自立と社会参画を促進し、男女平等社会の実現を図るため、企業・学校・地域団体などへ出向いて、講演会等を開催した。 ・出前セミナー 開催回数 8回 参加人数 312人					男女共同・ 4 市民参画室
					高松市家庭教育推進協議会事業として、家庭教育について学習する機会が得にくい父親を対象に父親のための家庭教育出前講座を実施した。 ・父親のための家庭教育出前講座 9回 ( -2-2再掲)	再	83	75		4 社会教育課
			子どもの人権の啓発		地域において児童が安心して健やかに成長することができる気運の醸成をはかるとともに、児童福祉に関するの援助および指導を行うことを任務とする主任児童委員に対して、研修会を開催して知識の向上を図った。 研修会 1回開催		16	13		4 こども未来課
		2メディアにおける人権を尊重した表現の促進	メディア等における女性の人権を侵害する表現に関する実態把握		未実施					男女共同・ 1 市民参画室
			メディア等における性差別、性の商品化や暴力表現等の是正に向けた自主的な取り組みの要請と啓発		市内の事業所の人事・研修担当者を対象に人権問題指導者研修講座を、10月20日、31日、11月8日の3回開催し、延べ377人の参加を得た。 特に、第3回パネルディスカッション「人にやさしい企業づくり」において、企業活動(広報等)の中で、女性をはじめとした人権の尊重に配慮した取り組みについて要請と啓発を行った。 ( -1-4再掲)	再	420	110		人権啓発課・ 4 商工労政課

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
			メディア検証に取り組むグループの活動支援		高松市男女共同参画センターに登録されている「メディアウォッチング香川」の活動について、支援を行った。					男女共同・ 4 市民参画室
			性の商品化などに対するメディア・リテラシーについての普及・啓発		刊行物表現チェックガイドを活用して、啓発を行った。					男女共同・ 4 市民参画室
			メディア・リテラシーに関するセミナーの開催		各種講座等を通して、女性や子どもたちを取り巻くメディア環境について取り上げ、メディア・リテラシーの必要性の理解を深めた。					男女共同・ 3 市民参画室
			市の刊行物におけるジェンダー・フリーの視点に立った表現についてのマニュアル作成		男女共同参画に敏感な市職員を育成するとともに、男女共同参画の視点に立った取組みを推進するため、表現マニュアルを活用し、人権を尊重した表現を促進した。					男女共同・ 4 市民参画室
			ジェンダー・フリーの視点に立った広報の推進		広報紙等でジェンダー・フリーの視点に立った広報を心がけた。 ( - 1 - 6再掲)	再	214,309	208,941	4	広聴広報課
		3 健全な環境の整備	女性に対する暴力を誘引する有害環境浄化対策の推進		有害図書等投函の白ポストで回収した際、集計分析の後、完全焼却した。					4 少年育成センター
			青少年健全育成強調月間など、地域の有害環境浄化のための啓発活動の推進		PTA、子ども会等における青少年の健全育成活動の推進に対して、各地域の自治会が支援・協力し、性に関する有害環境の浄化を図った。 (悪書追放、夜間外出問題、懇談会への参加)					4 地域振興課
			有害図書の回収		市内11か所に設置した白ポストによる有害図書・ビデオテープ等1,665件の回収により、有害環境の浄化に努めた。					4 少年育成センター

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
男女の人権が尊重される社会づくり	12女性に対するあらゆる暴力の根絶	1女性に対する暴力をなくすための環境づくり	女性に対する暴力の根絶に向けた広報・啓発の推進		広報紙においては女性に対する暴力に関する特集記事を年数回掲載するほか、それに関するセミナーや講座などのお知らせは随時掲載した。テレビ・ラジオなどでは女性に対する暴力の根絶に向けた番組を制作し、放送した。 ( -1-1再掲)	再	214,309	208,941	4	広聴広報課
					DVに関するパンフレット・リーフレットを活用し、DV防止の意識啓発を行った。また、女性こころの相談や1日電話相談を実施し、DVに関する相談事業等を行った。 ・DVに関するパンフレット・リーフレット作成 相談用リーフレット 1,500枚 DV折りたたみリーフレット 1,000枚 女性相談カード 6,000枚 デートDVリーフレット 3,000枚 ・相談事業 女性こころの相談 726件 ・男女共同参画啓発事業関係 女性弁護士の啓発講座,相談 6/29 女性のための1日電話相談 6/23 法律講座「高齢者の尊厳を守るために～高齢者虐待防止法ってなに？」 12/14					男女共同・ 4 市民参画室
			夫・パートナーからの暴力についての意識啓発		DVに関するパンフレット・リーフレットを活用し、DV防止の意識啓発を行った。また、こころの相談や1日電話相談を実施し、DVに関する相談事業等を行った。 ・DVに関するパンフレット・リーフレット作成 相談用リーフレット 1,500枚 DV折りたたみリーフレット 1,000枚 女性相談カード 6,000枚 デートDVリーフレット 3,000枚 ・相談事業 女性こころの相談 726件 ・男女共同参画啓発事業 女性弁護士の啓発講座,相談6/29 女性のための1日電話相談 6/23 法律講座「高齢者の尊厳を守るために～高齢者虐待防止法ってなに？」 12/14等					男女共同・ 4 市民参画室
			暴力防止などの講演会等の開催		男女平等社会の実現を図るため、講演会等を開催するなど、女性問題の解決や男女差別意識の払拭などについて、各種セミナーや出前セミナーを実施した。 ・出前セミナー 開催回数 8回 参加者数 312人 ・男女共同参画啓発事業関係 女性弁護士の啓発講座,相談6/29 子どもへの暴力防止活動に取り組む団体のワークショップ 6/25 法律講座「高齢者の尊厳を守るために～高齢者虐待防止法ってなに？」 12/14等					男女共同・ 4 市民参画室
			男性に対する学習機会の提供		講座・セミナー等の開催日時を考慮し、夜間や休日開催するなど、働く人や男性・若者などで、地域とのかかわりが希薄となりがちな人々が参加しやすい事業を実施するとともに、企業・学校・地域団体などへ出向いて、女性問題の解決や男女差別意識の払拭などについて、共に考える機会として、出前セミナーを実施した。また、男女共同参画市民フェスティバル開催の中で、講演会の充実に努めた。 ・出前セミナー 8回 参加者数 312人 ・市民企画講座 7講座 参加者数 426人等					男女共同・ 4 市民参画室

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
			関係機関との連携による女性に対する暴力をなくす運動の展開		香川県被害者支援連絡協議会を通じ、関係機関との連携を密接に図るとともに、DV被害者保護支援高松ブロックネットワーク会議で関係機関との連携を図った。					男女共同・ 4 市民参画室
			ドメスティック・バイオレンス防止法、ストーカー規制法の周知		ドメスティック・バイレンス防止のためのリーフレット・パンフレット等を活用して、広く市民に意識啓発を行うとともに、広報紙を活用して、広く市民に周知、啓発を行った。 ・DVに関するパンフレット・リーフレット作成 相談用リーフレット 1,500枚 DV折りたたみリーフレット 1,000枚 女性相談カード 6,000枚 デートDVリーフレット 3,000枚 ・男女共同参画啓発事業関係 女性弁護士の啓発講座、相談6/29 法律講座「高齢者の尊厳を守るために～高齢者虐待防止法ってなに?」12/14等					男女共同・ 4 市民参画室
			生命尊重,人への思いやり,暴力防止などの心の教育の充実		教師と児童・生徒及び児童・生徒相互の温かい人間関係を基盤として、道徳教育等学校教育活動全体を通して男女平等教育の視点から心の教育の充実を図った。					4 学校教育課
			防犯灯,街路灯の整備		自治会が行う防犯灯の新設等に係る経費や維持管理費の全額または一部を助成し、夜間における犯罪の防止や通行の安全を図った。 ・防犯灯新設実施済 204灯					4 少年育成センター
			2ドメスティック・バイオレンス等の対策の推進		県子ども女性相談センターやこども未来課等との連携を図り、相談の緊急度・危険度に応じた対応を行った。		4,305	4,284		4 地域振興課
			相談体制の充実と関係機関等との連携の強化		女性相談員による生活・家庭や愛情のもつれ等女性の悩みごと相談のうち、増加傾向にある配偶者等からの暴力に関する相談について必要な指導を行うとともに、香川県の設置する配偶者暴力相談支援センター等関係機関と連携して、被害者の保護や援助に努める。 女性相談員 1人 相談日時 月曜日～金曜日 9時～16時 相談件数 817件(うちDV相談件数172件)		2,039	2,017		男女共同・ 4 市民参画室
										4 こども未来課

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
			相談員の研修等の実施		スーパービジョンの実施や県主催等の相談員研修に参加した。 センターDV研修 開催回数 1回 参加者数 56人					男女共同・ 4 市民参画室
			関係機関との連携による女性や母子の緊急一時保護		配偶者等からの暴力により緊急一時的に保護を必要とする母子に対し、関係機関との連携を図りながら児童福祉施設において母子を一時的に保護する子育て支援事業の活用を図った。					3 こども未来課
			公的緊急避難場所や民間シェルター(緊急避難的なもの、長期的なもの)の確保・運営の促進		関係課において検討した。					こども未来課・ 2 男女共同・ 市民参画室
			ドメスティック・バイオレンス等の実態把握		ドメスティック・バイオレンスに関する市民の意識調査報告やパンフレットを活用して、DVやセクハラに対する意識の啓発に努めるとともに、たかまつ男女共同参画プラン(改訂版)策定事業に伴い、市民意識調査等を実施し、プランを策定した。 回答数 市民 1,285人 事業所 736事業所 市民団体 104団体					男女共同・ 4 市民参画室
			ドメスティック・バイオレンス防止啓発資料の作成・配布		DV防止啓発のため、DVに関するパンフレット・リーフレットを作成し、関係施設や市民に配布し、啓発に努めた。 ・DVに関するパンフレット・リーフレット作成 相談用リーフレット 1,500枚 DV折りたたみリーフレット 1,000枚 女性相談カード 6,000枚 デートDVリーフレット 3,000枚					男女共同・ 4 市民参画室
			関係機関との連携による被害者支援対策の充実		香川県被害者支援連絡協議会の会員として、犯罪による被害を受けた者およびその遺族に対する相談活動および相談業務の情報交換を通じ、被害者の要望に対応した支援をし、情報交換・相互協力・広報啓発活動等を行った。					男女共同・ 4 市民参画室
			被害者に対する生活保護等の援助体制の充実		平成18年度中「香川県子ども女性相談センター」に入所した3名に対し、医療扶助を適用した。					5 保護課
			3セクシャル・ハラスメントの防止対策の促進		広報紙においてはセクシュアル・ハラスメント防止に関する特集記事を年数回掲載するほか、それに関するセミナーや講座などのお知らせは随時掲載した。テレビ・ラジオなどではセクシュアル・ハラスメント防止の番組を制作し、放送した。 ( -1-1再掲)	再	214,309	208,941		4 広聴広報課

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
					リーフレット・パンフレット等を活用して、広く市民に意識啓発を行うとともに、広報紙を活用して、広く市民に周知、啓発を行った。また、企業・学校・地域団体などへ出向いて、講演会等を開催し、女性問題の解決や男女差別意識の払拭などについて、共に考えるセミナーを実施した。 ・出前セミナー 開催回数 9回 参加者数 312人				4	男女共同・市民参画室
					国、県等の関係機関から提供された関係情報をカウンターに設置し、希望者に配布した。平成18年9月から、関係情報を一般市民向けに広く広報するため、ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行った。				4	商工労政課
			事業所に対する男女雇用機会均等法等の周知・啓発資料の作成・配布		国、県等の関係機関から提供された関係情報をカウンターに設置し、希望者に配布した。平成18年9月から、関係情報を一般市民向けに広く広報するため、ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行った。				4	商工労政課
			セクシャルハラスメント防止対策の事例集など、事業所向けの周知・啓発資料の作成・配布		国、県等の関係機関から提供された関係情報をカウンターに設置し、希望者に配布した。平成18年9月から、関係情報を一般市民向けに広く広報するため、ホームページに「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係情報の提供を行った。				4	商工労政課
			関係機関の連携による事業所や公的機関、管理者等を対象としたセミナー等の開催		企業・学校・地域団体などに出向いて、講演会等を開催し、女性問題の解決(セクシャルハラスメントを含む。)について、共に考える機会を提供した。 ・出前セミナー 開催回数 8回 参加者数 312人				4	男女共同・市民参画室
					国、県等の関係機関から提供されたセミナー実施等の関係情報について、「たかまつ労政だより」に随時掲載し、市内事業所に送付するとともに、チラシ等については、カウンターに備置き、希望者に配布した。また、ホームページに雇用・労働情報を集約した「ワーキングたかまつ」を掲載し、関係機関のセミナー等実施の情報を、広く一般市民に広報した。				3	商工労政課
			事業所や公的機関等に対する出前セミナーの実施		企業・学校・地域団体などに出向いて、講演会等を開催し、女性問題の解決(セクシャルハラスメントを含む。)について、共に考える機会を提供した。 ・出前セミナー 開催回数 8回 参加者数 312人				4	男女共同・市民参画室
			市職員のセクシュアル・ハラスメントに関する研修の実施、職員向けの資料作成・配布		セクシュアル・ハラスメント防止に関する職員研修の実施 ・H18年度新規採用職員第一部研修の中で実施...4/11 5人 ・H18年度係長級職員研修の中で実施...6/30 43人 H18年度新規採用職員実務研修の実施 ・給食調理・清掃作業実務体験...5/11・12,5/18・19 5人 (-8-5再掲)	再	21	38	4	人事課

基本 目標	主 要 プラン	施策の基 本的方向	具体的施策・ 事業	重 点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度 評価	推進担当課
						再 掲	予算額	決算額		
			市職員のセク シュアル・ハラス メント相談窓口 の設置		引き続き男女共同参画センターに第1・3水曜日にセクハラ相談窓口を設置するとともに、人事課にも相談窓口を設置し、セクハラ相談・防止体制を整え、適切な対応が図られるよう努めた。					4 人事課

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)		達成度評価	推進担当課		
						再掲	予算額			決算額	
男女の人権が尊重される社会づくり	13生涯にわたる健康づくりの推進	1健康づくりの気運を高める啓発	健康管理のための情報提供の充実		引き続き、保健所ホームページに、当初の「健やか高松21」計画の詳細を掲載し、また、サポート事業所の募集を行うなど、計画の普及啓発に向けた各種広報活動に努めた。 18年度は「健やか高松21」計画の中間見直し年度であることから、当初計画に基づく各種健康関連事業、データ等を中間評価し、中間見直し版の計画書を策定し、周知啓発用のパンフレットを作成した。また、保健所ホームページの「健やか高松21」関係ページをリニューアルし、中間見直し版計画、パンフレット等を掲載したり、医師会等関係団体に当該計画書等を配布した。				4	保健総務課	
			健康診査の受診についての啓発		妊娠期、乳幼児期、成人期の各段階に応じて健康診査を実施し、疾病予防や疾病および異常の早期発見をするとともに、健康の保持増進に必要な支援を行った。 ・妊婦健康診査 15,513人 ・妊婦歯科健康診査 1,321人 ・乳児健康診査 7,054人 ・1歳6か月児健康診査 3,769人 ・3歳児健康診査 3,457人 ・子宮がん・乳がん検診 18,120人 ・基本健康診査 72,894人 また、広報たかまつ、ホームページ、各種行事の中で、検診受診について周知啓発した。				5	保健センター	
			健康相談・健康指導の充実		保健センターおよび各地区公民館等での各種健康教育、健康相談、健康講座を実施し、保健に対する正しい知識の普及を図った。 ・成人、老人の家庭訪問指導 3,111人 ・健康相談 178回 5,268人 ・健康教育 380回 12,648人 高齢者や閉じこもりがちな高齢者を対象に、介護予防についての講演や実技指導などを実施した。 ・一般高齢者介護予防啓発 726回 14,942人		823,698	953,197		5	保健センター
			健康スポーツ、レクリエーション等の普及啓発		各地区保健委員会等では、「健康ウォーキングマップ」等を活用し、健康ウォーキングの普及啓発を実施した。 ・健康ウォーキング大会 42回 3,034人		136,532	66,066		5	保健センター
			栄養、運動、休養等による生活習慣病予防の普及・啓発		保健センターにおいて、生活習慣病予防教室を開催するとともに、食生活改善推進協議会活動を推進した。 ・生活習慣病予防教室 28回 330人 ・食生活改善推進協議会活動		0	0		5	保健センター
			高齢者等に対する食生活改善の指導・支援		保健センターにおいて、生活習慣病予防教室を開催した。 ・生活習慣病予防教室 28回 330人		3,301	3,797		4	保健センター
			市民が身近に健康づくりができる散策等の場の確保		市民の健康づくりに資する身近な散策等の場を確保するため、運動公園、地区公園、近隣公園、街区公園の整備を進めた。 ・東部運動公園整備事業 ・玉藻公園整備事業 ・松縄流石中央公園(仮称)整備事業 ・天皇北公園(仮称)整備事業 ・房前公園(仮称)整備事業		604	497		4	保健センター
								664,411	609,723		4

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
		2リプロダクティブ・ヘルス/ライツの考え方の普及	リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する広報紙等による啓発		広報紙においてはリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する特集記事を年数回掲載するほか、それに関するセミナーや講座などのお知らせは随時掲載した。テレビ・ラジオなどではリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する番組を制作し、放送した。 ( -1-1再掲)	再	214,309	208,941	4	広聴広報課
			リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点に立った性教育や健康教育の充実		保健センターで実施したマタニティ教室において、健やかに子どもを産み育てるための正しい知識の普及と意識啓発を図った。 ・マタニティ教室の開催 33回 316人		117	93	5	保健センター
			リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する情報収集・提供		リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する情報を収集するとともに、市民の利用に供した。				4	男女共同・市民参画室
			性に関する教育・学習の充実		学級活動や保健学習等を通して、生命尊重・人権尊重の視点から、学校や児童生徒の実態に応じた性教育を推進した。				4	学校教育課
	3女性の健康管理への支援		妊娠・出産等に関する正しい認識の啓発		保健センターで実施したマタニティ教室において、妊娠・出産等に関する正しい情報を提供した。 ・マタニティ教室 33回 316人 ( -13-2再掲)	再	117	93	5	保健センター
			妊娠や出産についての男性に対する知識習得、体験の場の提供		保健センターにおいて、妊婦とその夫などを対象にマタニティ教室、日曜子育てひろば(はじめてのパパママ育児コース)を開催した。 ・マタニティ教室 参加延べ人員841人のうち夫等の参加延べ人員74人 ・日曜子育てひろば参加者257人のうち128人 ( -9-2再掲)	再	124	99	5	保健センター
			妊娠・出産期における女性の健康支援		保健センターにおいて、マタニティ教室を開催した。 ・マタニティ教室 33回316人 ( -13-2再掲)	再	117	93	5	保健センター
					不妊治療の経済的負担を軽減するため、医療保険が適用されず、高額な費用がかかる配偶者間の不妊治療に要する費用の一部を助成した。 給付件数 166件		22,278	27,395	5	保健センター
			思春期や更年期等における女性の健康支援		女性を対象に生涯を通じた健康づくり支援の一環として健康の保持増進について正しい知識を深め、いきいきと生活できるよう支援した。 ・母子セミナー 39回 952人 ・母子健康教育 46回 1,560人		1,287	1,070	5	保健センター

基本目標	主要プラン	施策の基本的方向	具体的施策・事業	重点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度評価	推進担当課
						再掲	予算額	決算額		
					前年度の実施状況と成果をふまえ、年間指導計画の充実と改善を図りながら、実施した。 ・指導者の研修事業(エイズ教育・喫煙防止教育・薬物乱用防止教育研修会) ・各学校ごとの授業研究・公開授業の実践 ・各学校ごとの現職教育 ・小・中学校保健部会の研修 ・体育(保健領域及び保健分野)での学習				4	学校教育課
			子宮がん、乳がんなど女性に特有の症状や病気についての知識の普及や健康診査の充実		20歳代から増え始める子宮がん、40歳代に特に多くみられる乳がんの二次予防として個別検診と集団検診を実施した。 ・子宮がん検診 10,043人 ・乳がん検診 8,077人 乳がん検診では、40歳以上の隔年の者に視触診・マンモグラフィーを実施した。		93,954	85,858	5	保健センター
			「母性健康管理指導事項連絡カード」などの制度の普及・啓発		母子健康手帳に記載されている女性・男性のための出産、育児に関する制度を妊娠届出時に働く女性に説明し、普及・啓発に努めた。				5	保健センター
			健康問題、妊娠・出産に関する相談の充実		母子健康手帳交付時や必要に応じて、妊娠・出産に関する個別の相談に応じ、心身ともに健全な育成を支援した。 ・母性の相談(来所) 3,431人 同上(電話) 855人				5	保健センター
			母子保健の家庭訪問等による指導の充実		ハイリスク妊婦(若年妊娠、高齢初産婦、多胎妊娠等)、低体重児、未熟児や妊産婦・新生児訪問依頼等があった者を訪問し、妊娠、出産に対する不安等を解消するとともに、妊娠・産褥期の健康管理の支援を行った。 また、育児についての具体的な助言を行うことにより、保護者の育児不安を軽減するとともに、疾病の早期発見・早期治療を図った。 助産師会にも委託し連携を図りながら実施した。 ・妊産婦訪問指導 1,072人 ・新生児訪問指導 703人 ・乳幼児訪問指導 1,629人		2,860	3,190	5	保健センター
		4女性の健康をおびやかす問題についての対策の推進	エイズ検査の実施		エイズやHIV感染に対する不安を解消するとともに、エイズのまん延を防止するため、医師による個別相談・血液検査を実施した。 (1)実施回数 月2回 年3回時間延長 6月 14:00~17:00 18:00~20:00 9・12月 14:00~18:00 (2)実施状況 ・エイズ検査 154人		372	185	4	保健対策課

基本 目標	主 要 プラン	施策の基 本的方向	具体的施策・ 事業	重 点	事業状況および成果	事業費(千円)		達成度 評価	推進担当課		
						再 掲	予算額			決算額	
			エイズなど性感 染症に関する相 談事業や啓発活 動による正しい 知識の普及		(1)エイズ相談 エイズとHIV感染の不安のある人を対象に 個別相談を実施し、不安の解消と正しい知識 の普及に努めた。 ・実施状況 659人 (2)エイズキャンペーン エイズに対する正しい知識等について普及 啓発し、エイズのまん延防止と患者・感染者に 対する偏見や差別の解消を図るため、12月1 日「世界エイズデー」の一環として、キャン ペーンを開催した。「STOP AIDS Kagawa 2006」(香川県と共催)平成18年11月1日～ 12月2日 - イベント - ・日時 平成18年11月5日 場所 香川大学祭 内容 メッセージライブ、エイズ予防啓発 ムービー 参加者 約1,000人 ・日時 平成18年12月2日 場所 オリーブホール 内容 エイズトーク、エイズ写真展示、メッ セージライブ 参加者 約50人 (3)性感染症・エイズパネル展 ・日時 平成18年11月27日～12月1日 場所 市役所市民ホール 参加者 1,209人 (4)高松大学祭等への参加 ・日時 平成18年10月28日～10月29日 参加者 230人 その他 中学・高校への出前講座の実施 参加者 約1,166人						
			感染症発生情報 の提供や予防に 関する正しい知 識の普及		(1)広報媒体での周知啓発 広報たかまつ、広報ラジオ、ケーブルテレ ビ、メールマガジン (2)啓発活動の推進 学校、福祉施設、保健委員会等へのリー フレット等の配布 (3)発生情報の提供 市感染症予防対策連絡会委員に発生情 報を報告し、関係施設等へ周知啓発 ・インフルエンザ、O157、ブール熱 (4)各種行事等における啓発 ・高松市民健康まつり(O157等)		700	700	4	保健対策課	
			摂食障害、喫 煙、飲酒、薬物 乱用に関する知 識の普及や自助 グループの活動 に対する支援		摂食障害の自助グループの活動を支援した。		332	325	4	保健対策課	
					(1)心の健康の保持増進を図るとともに、精 神障害者に対する地域での支援を促進する ため、精神保健に関する知識の普及啓発を 図った。 ・アルコール問題を考えるつどい 2回コース 参加延人数 111人 ・アルコール問題を考える家族のつどい 毎月1回実施 参加延人数 109人 ・若年者のアルコール問題への啓発 1回実施 参加延人数 60人 ・こころの健康セミナー 3回コース 参加延人数 185人 (2)こころの健康相談 ・保健師による相談 訪問 476件 相談 472件 電話相談 1352件 ・医師による相談 3件						男女共同・ 4 市民参画室
							1,343	831	3	保健センター	

基本 目標	主 要 プラン	施策の基 本的方向	具体的施策・ 事業	重 点	事業状況および成果	事業費(千円)			達成度 評価	推進担当課
						再 掲	予算額	決算額		
					喫煙と健康についてのロビー展を開催し、喫煙の健康への影響等について啓発した。		23	0	4	保健センター
			思春期の男女を中心に、性感染症や避妊など性に関する学習機会の充実		前年度の実施状況と成果をふまえ、年間指導計画の充実と改善を図りながら、実施した。 ・指導者の研修事業(エイズ教育・薬物乱用防止教育・喫煙防止、飲酒防止教育研修会) ・各学校ごとの授業研究・公開授業の実践 ・各学校ごとの現職教育 ・小・中学校保健部会の研修 ・体育(保健領域及び保健分野)での学習				4	学校教育課